

# 施策評価シート

施策コード	1102	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
施策名	教育の充実	所属名 教育委員会事務局 教育総務課

## 1. 基本情報

位置づけ 総合計画	体系区分	コード	名称
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり
	政策	01	次代を築き担う、たくましい子どもを育む

## 2. 施策の概要【PLAN】

現状と課題	<p>○本市の児童・生徒の学力は、全国水準を上回っていますが、基礎的な知識に比べて活用力がやや低く、また学習意欲が低いという傾向がみられます。</p> <p>○不登校、その他問題行動などを含む学校不適応対策や発達障がい等の児童・生徒に対する教育的支援・指導の充実が求められています。</p> <p>○モラルやマナー・ルールなどを尊重する意識の低下や核家族化の進行、地域社会の結びつきが弱くなるなど、家庭や地域の教育力が低下しています。</p> <p>○少子化の進展により、山間部などの一部の学校では児童・生徒数の減少が著しく小規模化が進む一方で、市街地に近い郊外の学校では宅地開発などにより大規模化が進んでいます。</p> <p>○小中学校施設の耐震診断の結果、多くの施設で耐震補強が必要であることが判明したほか、施設・設備の老朽化が進んでいます。</p> <p>○次代の鳥取市を担う優秀な人材の育成・確保のため、高等学校や大学等の教育機会の充実が必要となっています。</p>
めざす方向	「ふるさとを思い 志をもつ子」を育み、次代の鳥取を発展させる主役となって活躍する人づくりを進めます。
達成するための対策・手段	①「ふるさとを思い 志をもつ子」を育む教育の推進 ②確かな学力を保障する教育の充実 ③家庭や地域の教育力の向上 ④教育環境の充実 ⑤学校支援施策の充実 ⑥鳥取環境大学の改革・公立化

## 3. 施策の成果を把握していくための指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
成果指標	1	中学校における不登校生徒の出現率	%	目標	3.09	2.82	2.55	2.28	2	
				実績	3.11	2.51	2.98	0	0	
				目標達成率	101%	89%	117%			
		(指標の説明) 市立中学校における不登校生徒の出現率(不登校生徒数/全校生徒数)。平成21年度の全国中学校都道府県別最低率である2%をめざす。(基準値は平成21年度)								
	2	ふるさとを思い 志をもつ子の育成事業実施校数	校	目標	5	8	13	16	19	
				実績	5	9	11	0	0	
				目標達成率	100%	113%	85%			
		(指標の説明) 中山間地域ふるさと体験活動事業の実施市立小学校数。(基準値は平成22年度)								
	3	小中学校施設の耐震化率	%	目標	74	83.3	87.7	91.7	96.1	
実績				73.6	83	87.6	0	0		
目標達成率				99%	100%	100%				
(指標の説明) 市立小中学校施設の耐震化率(耐震化された棟数/全棟数)。(基準値は平成21年度)										

## 4. 施策を進めるに当たって要する(した)経費【PLAN・DO】

(単位:千円)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
決算額	2,294,510	3,295,010	3,058,653	0	0

## 5. 施策の成果【CHECK】

施策の成果 (成果が上がっているか、政策の目標実現に貢献しているか)	教育の充実のための諸施策は、短時間で成果が見られるもの、時間をかけて成果を見ていくもの、事業内容の見直しを行っていくべきものがあるが、教育施策は人づくりの根幹をなすものであるため、今後も様々な施策を展開して行く必要がある。
---------------------------------------	---

## 6. 今後の施策の方向性【ACTION】

方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 維持継続 <input type="checkbox"/> 4. 縮小廃止
担当部長評価コメント (部としての施策の方向性) ※市民等との協働の推進、行財政改革の推進の視点を踏まえて記載	教育の充実のための諸課題は、年とともに変化している。これらの課題に対応するため、これまでの事業成果を踏まえ、また次の時代を見据えた事業見直しや組み換えなどを行いながら、今後も、「ふるさとを思い 志をもつ子」を育み、次代の鳥取を発展させる主役となって活躍する人づくりを進めます。

## 7. 市民アンケートに対する方向性

市民アンケートに対する方向性	【重要度:5位、満足度:19位、ニーズ度:4位】 ●ニーズ度が高く、満足度が低いことから、満足度の向上を図るための改善を優先して行う必要がある。
----------------	---

# 事務事業評価シート

事務事業コード	000575	重点事業区分	リープロ1	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	中山間地域ふるさと体験活動支援事業		所属名	教育委員会事務局 学校教育課

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり		事業期間	平成21年度 ~ 全期
	政策	01	次代を築き担う、たくましい子どもを育む		根拠法令、根拠計画等	
施策	1102	教育の充実				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	中学校における不登校生徒の出現率		3%	2%	運営方法	直営
	ふるさとを思い 志をもつ子の育成事業実施校数		5校	19校	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	中山間地域ふるさと体験活動支援事業費			予算事業コード	01-09-01-03-84-01

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	小学校児童
意図 (どのような状態にするために)	豊かな人間性や社会性などを育むとともに、ふるさとの自然や文化のすばらしさや人のあたたかさを心や体に刻み込む原体験を行う。
手段 (どうするのか)	佐治町の民家での農林家暮らし体験を中心としながら、林業体験や和紙づくり体験などの自然体験・文化体験活動を行う。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
内容	年度別計画	佐治町の農山村での生活体験活動	佐治町の農山村及び新市域の農山村での生活体験活動	佐治町の農山村及び新市域の農山村での生活体験活動	佐治町の農山村及び新市域の農山村での生活体験活動	佐治町の農山村及び新市域の農山村での生活体験活動	
	年度別実績	市内5校(賀露小・明德小・湖山西小・津ノ井小・中ノ郷小)が2泊3日の体験活動を実施。	市内9校(賀露小・明德小・湖山西小・津ノ井小・中ノ郷小・大正小・末恒小・美和小・遷喬小)が2泊3日の体験活動を実施。	市内11校(宮ノ下小・美和小・中ノ郷小・大正小・賀露小・遷喬小・末恒小・湖山西小・津ノ井小・明德小・福部小)が2泊3日の体験活動を実施。			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	3,861	6,147	6,931	0	11,097	
	直接経費 A	2,362	4,662	5,474	0	11,097	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	2,300	4,600	5,400	0	11,000
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	62	62	74	0	97
人件費 B	1,499	1,485	1,457	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.20	0.20	0.20	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	1	農山村生活体験活動の実施校数	校	目標	5	8	13	14	16
				実績	5	9	11	0	0
	(指標の説明) 農山村生活体験活動の実施校数								
2				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 校区審議室 0857-20-3376</p> <p>【9次総の施策体系】 1102</p> <p>【予算計上の経過】 当初予算・P269(教030)</p> <p>【事業の概要】 児童が、佐治町の農山村で生活体験を通じて、豊かな人間性や社会性などを育むとともに、ふるさとの自然や文化のすばらしさ、人のあたたかさを感じることで、ふるさとを大切に、強い志をもつ子どもを育成する。</p> <p>【事業の成果】 市内小学校11校(宮ノ下小・美和小・中ノ郷小・大正小・賀露小・遷喬小・末恒小・湖山西小・津ノ井小・明德小・福部小)が2泊3日で以下の内容を実施。 ①林業体験活動 ②郷土料理作り体験活動 ③農林家暮らし体験 ④和紙作り体験活動 ⑤佐治谷話の語り部体験 ⑥魚のつかみ取り体験 ⑦星空観察 等</p> <p>【今後の課題・方向性】 参加児童は、農山村での自然・文化体験を通して、地域の歴史や自然に対する興味・関心が高まり、ふるさとや人との関わりを大切に思う気持ちが育まれている。実施校が年々増加してきており、今後も本市の豊かな教育資源を活用した教育実践を支援していく必要がある。現在は、ホームページに活用の様子を紹介し、有効性の周知に努めている。実施校のさらなる増加に向けて、今後は各校が次年度の学校行事を計画する前に、希望調査を取るなどして、新たに行事に取り組んでもらえるようにしていきたい。また、受け入れ時期を冬期にも広げるなど一年を通じて実施できる体験活動としてのプログラムを開発していきたい。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	農山村生活体験活動の実施校数	100%	113%	85%		
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>目的の妥当性</p> <p>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</p>	<p>■ 1. 妥当である</p> <p>□ 2. ほぼ妥当である</p> <p>□ 3. あまり妥当ではない</p> <p>□ 4. 妥当ではない</p>	「ふるさと鳥取」の自然や文化を活用し、鳥取市のめざす子ども像「ふるさとを思い、志をもつ子」の育成に直接つながっている。
<p>事業の有効性</p> <p>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</p>	<p>■ 1. 有効である</p> <p>□ 2. やや有効である</p> <p>□ 3. あまり有効でない</p> <p>□ 4. 有効でない</p>	体験活動に参加した児童は、ふるさとの歴史や自然の良さを実感し、山間地域に暮らす人々への関心が高まっている。また、中山間地域の活性化にもつながっている。
<p>資源投入の効率性</p> <p>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</p>	<p>■ 1. 効率的である</p> <p>□ 2. やや効率的である</p> <p>□ 3. あまり効率的ではない</p> <p>□ 4. 効率的ではない</p>	報償費、宿泊費等の補助を行うことで保護者負担額が軽減され、通常の宿泊学習ではできないような多様な体験活動を行うことができるため効果を上げている。
<p>サービスの公平性</p> <p>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</p>	<p>■ 1. 公平である</p> <p>□ 2. やや公平である</p> <p>□ 3. あまり公平ではない</p> <p>□ 4. 公平ではない</p>	内容を変更しにくい学校行事であるため、一部の学校の実施にとどまっているが、参加児童は毎年異なるため、多くの児童が体験することができている。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<p>■ 1. 拡充</p> <p>□ 2. 改善継続</p> <p>□ 3. 現状維持</p> <p>□ 4. 縮小</p> <p>□ 5. 休止、廃止、終了</p>	<p>■ 1-1 意図的に拡充</p> <p>□ 1-2 制度的に自然増加</p> <p>□ 2-1 手段等の改善</p> <p>□ 2-2 効率化、簡素化</p> <p>□ 2-3 他事業との統合</p>	<p>□ 4-1 意図的に縮小</p> <p>□ 4-2 制度的に自然減少</p> <p>□ 5-1 臨年実施等、意図的に休止</p> <p>□ 5-2 意図的に廃止</p> <p>□ 5-3 制度的に終了</p>
	<p>担当課長の評価コメント</p>	<p>新市の豊かな地域資源を活用した教育活動を支援していくため、今後も実施校を増やしていくことが大切である。今後は各校が次年度の学校行事を計画する前に、希望調査を取るなどして、新たに行事に取り組んでもらえるようにしていきたい。また、受け入れ時期を冬期にも広げるなど一年を通じて実施できる体験活動としてのプログラムを開発していきたい。</p>	

# 事務事業評価シート

事務事業コード	000577	重点事業区分	リープロ1	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	ふるさとの先輩活用事業		所属名	教育委員会事務局 学校教育課

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり		事業期間	平成23年度 ~ 全期
	政策	01	次代を築き担う、たくましい子どもを育む		根拠法令、根拠計画等	
施策	1102	教育の充実				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	中学校における不登校生徒の出現率		3%	2%	運営方法	直営
	ふるさとを思い 志をもつ子の育成事業実施校数		5校	19校	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	ふるさとの先輩活用事業費		予算事業コード	01-09-01-03-87-01	

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	中学校生徒
意図 (どのような状態にするために)	志や夢、規範意識等の価値観を涵養するとともに、郷土に対する愛情や誇りを育む機会とする。
手段 (どうするのか)	郷土出身者（鳥取市出身者）で県外や国外等で広く活躍している人材を迎え、中学生を対象とした講演会を行う。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 講演会等	平成24年度 講演会等	平成25年度 講演会等	平成26年度 平成25年度で廃止	平成27年度 平成25年度で廃止	
	年度別実績	青谷中学校・鹿野中学校・北中学校の3校で実施。	青谷中学校・鹿野中学校・佐治中学校・北中学校の4校で実施。	河原中学校・青谷中学校・高草中学校・北中学校・鹿野中学校の5校で実施。			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	1,082	1,113	1,051	0	0	
	直接経費 A	332	370	322	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	30	0	0	0	0
	一般財源	302	370	322	0	0	
人件費 B	750	743	729	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		郷土出身の講師を招いた講演会の実施校数	校	目標	6	6	6	0	0
	実績	3	4	5	0	0			
2	(指標の説明)	郷土出身の講師を招いた講演会の実施校数							
	目標	0	0	0	0	0	0	0	
3	実績	0	0	0	0	0	0	0	
	(指標の説明)								

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】教育センター 0857-36-6060</p> <p>【9次総の施策体系】1102</p> <p>【予算計上の経過】 当初予算・P272(教032)</p> <p>【事業の概要】 鳥取市出身の人材で、広く角界で活躍している人材を講師に迎え、直接、生徒に講話や講義を行ってもらうことを通して、郷土の先輩から学ぶ機会を設け、鳥取市教育ビジョン「ふるさとを思い 志を 持つ子」の実現を図る。</p> <p>【事業の成果】 市内18中学校のうち、単年度で6中学校で郷土出身の人材を招聘し、全生徒対象の講演会または講義を行う。 平成23年度：332千円(青谷中、鹿野中、北中の3校で実施) 平成24年度：370千円(青谷中・鹿野中・北中・佐治中の4校で実施) 平成25年度：323千円(河原中・青谷中・高草中・北中・鹿野中の5校で実施)</p> <p>【今後の課題・方向性】 各学校の独自性を活かすためにも他の事業と統合し、平成25年度を持って本事業は廃止とする。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	郷土出身の講師を招いた講演会の実施校数	50%	67%	83%		
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	鳥取市の教育ビジョンである「ふるさとを思い 志を 持つ子」を育てるためにも、郷土出身者の思いを聴く機会を持つことは有意義である。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 有効である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	地域や学校の実態に即した教育活動を推進するうえで、各学校の裁量で資源を効果的に運用することも必要である。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	鳥取市の教育ビジョン実現のため、各学校が独自性を出しながら資源を有効に活用することも必要である。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	3か年で全中学校において実施を計画していたが、招聘する人材の確保が難しく実施校の広がりが十分ではなかったものの、希望した学校では全校生徒を対象をして取り組んでおり公平と捉えている。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input checked="" type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	過去3年間の実績を見ると、毎年実施している学校もある。講師の人選等の課題で、事業実施に至らない学校も見られるが、中学生という義務教育最終段階で、先輩の講話や講義を通して自分の生き方を考える機会を設けることはとても意義深いと考えている。各学校の実情に即した資源の効果的運用も有効だと思われる。	

# 事務事業評価シート

事務事業コード	000578	重点事業区分	—	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	学校支援ふるさと人材活用事業		所属名	教育委員会事務局 学校教育課

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり		事業期間	平成23年度 ~ 全期
	政策	01	次代を築き担う、たくましい子どもを育む		根拠法令、根拠計画等	
施策	1102	教育の充実				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	建設、整備
	中学校における不登校生徒の出現率		3%	2%	運営方法	直営
	ふるさとを思い 志をもつ子の育成事業実施校数		5校	19校	会計区分	一般会計
	小中学校施設の耐震化率		73%	96%		
予算	予算事業名	学校支援ふるさと人材活用事業費			予算事業コード	01-09-01-03-88-01

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	小学校児童
意図 (どのような状態にするために)	志や夢、規範意識等の価値観を涵養するとともに、郷土に対する愛情や誇りを育む機会とする。
手段 (どうするのか)	地域の人材を教育活動支援者として招き、郷土鳥取の大人とのふれあう機会を設ける。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
内容	年度別計画	講師招聘	講師招聘	講師招聘	平成26年度より他事業と統合	平成26年度より他事業と統合	
	年度別実績	38校のべ115人688回	35校のべ728回実施。	39校のべ782回実施。			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	2,475	2,578	2,684	0	0	
	直接経費 A	1,725	1,835	1,955	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	110	1,673	1,147	0	0
		一般財源	1,615	162	808	0	0
人件費 B	750	743	729	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	1	郷土出身者を招いた授業の実施回数	回	目標	996	1032	1028	0	0
		実績		688	728	782	0	0	
	(指標の説明) 郷土出身者を招いた授業の実施回数								
2				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】教育センター 0857-36-6060</p> <p>【9次総の施策体系】1102</p> <p>【予算計上の経過】 当初予算・P273(教033)</p> <p>【事業の概要】 鳥取市在住の人材を小学校の教育活動支援者として活用することにより、郷土鳥取の大人とのふれあいの機会を設け、教育ビジョン「ふるさとを思い 志を 持つ子」の実現を図る。</p> <p>【事業の成果】 市内全ての小学校の全学年・全学級で活用する。具体的には各学級2回の人材活用を基本とする。 平成23年度：38校 688回実施 1,720,000円 平成24年度：35校 728回実施 1,820,000円 平成25年度：39校 782回実施 1,955,000円</p> <p>【今後の課題・方向性】 各学校の独自性をより生かすために他の事業と統合し、平成25年度と持って廃止とする。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	郷土出身者を招いた授業の実施回数	69%	71%	76%		
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	鳥取市の教育ビジョン「ふるさとを思い 志を 持つ子」を育てるために、地域の人材を大いに活用し学校教育の充実を図ることは子どもたちにとっても有益である。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	各小学校は地域の人材を活用して教育効果を高めている。地域の大人との触れ合いを通して学習を展開できるし、学校も地域と協働した教育運営を展開できる等大きな利点がある。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	各校1学級2回の人材活用として予算化しているが、学校の独自性を活かすためにも、柔軟な予算執行を図り、教育効果を高めることも必要である。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	各小学校学級数×2回という計画で予算化しており、事業としては公平だと考えている。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input checked="" type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	地域の人材を全ての学校で効果的に活用するこの事業は、小学校現場にとってもとても意義ある事業である。児童にとっては地域の大人とのふれあいを通して学習を展開できるし、学校も地域と協働した教育運営を展開できる大きな利点がある。今後は各学校の独自性を活かした教育活動がより図れるよう、事業の統合なども検討する必要がある。	

# 事務事業評価シート

事務事業コード	000560	重点事業区分	—	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	学力向上推進事業(学力向上推進)		所属名	教育委員会事務局 学校教育課

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり		事業期間	全期
	政策	01	次代を築き担う、たくましい子どもを育む		根拠法令、根拠計画等	
施策	1102	教育の充実				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	中学校における不登校生徒の出現率		3%	2%	運営方法	直営
	ふるさとを思い 志をもつ子の育成事業実施校数		5校	19校	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	学力向上推進事業費			予算事業コード	01-09-01-03-52-01

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	小中学校児童生徒
意図 (どのような状態にするために)	児童生徒個々が「確かな学力」を身につける。
手段 (どうするのか)	基礎学力の定着と学力の向上に向けた全市的な施策を実施する。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 講師招聘 学力向上推進事業委託	平成24年度 講師招聘 学力向上推進事業委託	平成25年度 講師招聘 学力向上推進事業委託	平成26年度 講師招聘 学力向上推進事業委託	平成27年度 講師招聘 学力向上推進事業委託	
	年度別実績	・学力向上推進事業委託 ・基礎学力定着支援事業 ・児童生徒学力向上教材整備	・学力向上推進事業委託 ・基礎学力定着支援事業 ・児童生徒学力向上教材整備	・学力向上推進事業委託 ・基礎学力定着支援事業 ・児童生徒学力向上教材整備			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	10,046	10,436	10,241	0	4,690	
	直接経費 A	9,296	9,693	9,512	0	4,690	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	9,296	9,693	9,512	0	4,690	
人件費 B	750	743	729	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
		地域の人材(講師)を活用した事業の実施回数	回	目標	3100	3100	3100	3100	3100	
			実績	2474	2654	2683	0	0		
	(指標の説明) 地域の人材(講師)を活用した事業の実施回数									
	2	委託数	地域	目標	18	18	17	0	0	
				実績	18	18	17	0	0	
(指標の説明) 学力向上推進事業の委託数										
3	参加児童生徒数		目標	0	0	0	4000	4000		
			実績	0	0	0	0	0		
(指標の説明) 参加する児童生徒数										



5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 指導係 0857-20-3357</p> <p>【9次総の施策体系】 1102</p> <p>【事業の概要】</p> <p>1 地域の人材を活用しながら進める「基礎学力定着支援事業」</p> <p>2 学習習慣定着のために家庭や地域と協力して進める「トリニティープラン」</p> <p>3 学力向上教材費</p> <p>【事業の成果】</p> <p>基礎学力定着支援事業は、基礎・基本事項の定着が不十分な児童・生徒のみならずすべての児童・生徒の学力支援策として放課後、長期休業中に実施されており、市内44小中学校で、支援者165名によって、のべ2683時間実施された。トリニティープランは学校・地域・保護者の連携によって、学習習慣の定着に努めており、全国学力・学習状況調査でも家庭学習の定着で良好な結果を維持している。</p> <p>【今後の課題・方向性】</p> <p>学力向上は学校の責務であるが、目的意識や学ぶ意欲、学習習慣の育成などには、家庭や地域の協力も欠かせない。今後も、保護者や地域への情報発信を推し進め、地域の声を反映させるとともに、地域人材を放課後等の学習指導、学習習慣の定着を図るための支援者として積極的に活用し、学校・保護者・地域が協働した学力向上策を進めることで、その効果をさらに高めたい。また、「トリニティープラン」については、平成26年度より「小中一貫教育推進プラン」と統合し、「特色ある中学校区創造事業」とし、より中学校区の実態・課題に即した特色ある取組を推進していきたい。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	地域の人材(講師)を活用した事業の実施回数	80%	86%	87%		
	2	委託数	100%	100%	100%		
	3	参加児童生徒数					

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>目的の妥当性</p> <p>・市が関与すべき範囲か</p> <p>・対象と意図は現行でよいか</p> <p>・適切な目標が設定されているか</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である</p> <p><input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である</p> <p><input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない</p> <p><input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない</p>	すべての児童生徒を対象とした事業であり、市が関与し実施することが妥当である。
<p>事業の有効性</p> <p>・成果の向上につながっているか</p> <p>・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である</p> <p><input type="checkbox"/> 2. やや有効である</p> <p><input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない</p> <p><input type="checkbox"/> 4. 有効でない</p>	全国学力・学習状況調査では、小中学校とも良好な結果を維持しており、この事業の成果の1つと考えている。
<p>資源投入の効率性</p> <p>・事業の実施手法は効率的か</p> <p>・高い費用対効果が得られているか</p> <p>・外部委託の可能性はないか</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である</p> <p><input type="checkbox"/> 2. やや効率的である</p> <p><input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない</p> <p><input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない</p>	放課後や長期休業などに実施しており、授業以外の学力向上策として有効かつ効率的に実施されている。
<p>サービスの公平性</p> <p>・対象は適切か</p> <p>・受益者負担は適正か</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である</p> <p><input type="checkbox"/> 2. やや公平である</p> <p><input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない</p> <p><input type="checkbox"/> 4. 公平ではない</p>	すべての児童生徒を対象にしているが、学力の定着が不十分な児童生徒への個別支援にも活用されており、より児童生徒の実態に即した活用となっており、有効である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<p><input type="checkbox"/> 1. 拡充</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続</p> <p><input type="checkbox"/> 3. 現状維持</p> <p><input type="checkbox"/> 4. 縮小</p> <p><input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了</p>	<p><input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充</p> <p><input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善</p> <p><input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化</p> <p><input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合</p>	<p><input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小</p> <p><input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少</p> <p><input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止</p> <p><input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止</p> <p><input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了</p>
	<p>担当課長の評価コメント</p>	<p>学校・保護者・地域の連携による事業であり、全ての児童生徒の学力向上につながる大変有効な事業である。平成26年度より、基礎学力定着支援事業のみとし、全小中学校で実施の方向である。トリニティープランについては、「小中一貫教育推進プラン」と統合し、新規事業として特色ある中学校区づくりをより推進していくことを考えている。</p>	

# 事務事業評価シート

事務事業コード	000552	重点事業区分	-	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	自立と創造の学校づくり推進事業		所属名	教育委員会事務局 学校教育課

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり		事業期間	全期
	政策	01	次代を築き担う、たくましい子どもを育む		根拠法令、根拠計画等	
施策	1102	教育の充実				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	中学校における不登校生徒の出現率		3%	2%	運営方法	直営
	ふるさとを思い 志をもつ子の育成事業実施校数		5校	19校	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	自立と創造の学校づくり推進事業費			予算事業コード	01-09-01-03-36-03

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	全小・中学校
意図 (どのような状態にするために)	市立小中学校が児童生徒の実態、保護者の願いや期待、地域の特性などを踏まえ、自立し創意工夫ある学校づくりを進展させることにより、教育目標の達成を図る。
手段 (どうするのか)	学校が企画した教育活動及び取組内容に応じて、裁量の予算を拡充し、意欲や工夫・考え方を審査して予算配分する。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	年度別実績			小中学校で企画立案した計画書を査定し、学校運営予算として配分する	小中学校で企画立案した計画書を査定し、学校運営予算として配分する	小中学校で企画立案した計画書を査定し、学校運営予算として配分する	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	22,012	21,683	21,374	0	19,000	
	直接経費 A	19,763	19,455	19,188	0	19,000	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	19,763	19,455	19,188	0	19,000	
人件費 B	2,249	2,228	2,186	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.30	0.30	0.30	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	実施学校数	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
			校	目標	0	0	60	60	60
			実績	0	0	66	0	0	
		(指標の説明) 計画書に基づいて特色ある取組を実施した小中学校数							
2				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
		(指標の説明)							
3				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
		(指標の説明)							

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 指導係 0857-20-3357</p> <p>【9次総の施策体系】 1102</p> <p>【予算計上の経過】 当初予算・P267(教020)</p> <p>【事業の概要】 地域に開かれた魅力ある学校づくりを実現するため、学校の創意工夫・自主的な取組に関して、各学校が企画立案したものを教育委員会が評価・査定をし、必要な予算を措置する。市は、鳥取市小学校教育研究会及び鳥取市中学校教育振興会に委託して事業を実施する。</p> <p>【事業の成果】 ① 一律支援予算による事業 従来より効果的に展開されてきた事業並びに日常の教育活動について、児童・生徒数に応じて自主的に学校が運営できる予算として配分した。 ② 特別支援予算による事業 特色ある学校づくりのために独自に企画立案した計画書をもとに成果が期待される事業に対して、評価・査定を行った上で予算配分した。 平成24年度 19,455,000円 平成25年度 19,188,000円</p> <p>【今後の課題・方向性】 本事業により、創意ある教育活動が推進されており、児童・生徒の学力向上はもとより、それぞれの学校及び地域の実態に応じた魅力ある学校づくりが進んでいる。本事業を活用した魅力ある学校づくりに対しての地域の評価も高い。今後は、中学校区の特色ある取組への支援拡充も含め、他事業との関連性を見直し、事業内容の再構築を図りながら充実させていきたい。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	実施学校数			110%		
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	市がすべての小中学校に対して、特色ある学校づくりを行うことを支援していくことは、本市の目指す子ども像の実現に向けて必要不可欠である。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	各学校が児童生徒の実態、保護者の願いや期待、地域の特性を踏まえ本事業に取り組むことは、魅力ある学校づくりに直接つながるものであり、大変有効である。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	学校が作成した事前協議書をもとに、実施計画を審査し予算配分を行うことで、より目的を明確化した必要性のある事業展開となっている。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	各校の配分予算を、児童生徒数を基本とする一律支援予算と、各校のより特色のある取組を支援する特別支援予算で構成しており、公平性のある予算配分となるよう留意している。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<b>担当課長の評価コメント</b> <small>地域に開かれた魅力ある学校づくりを実現するため、学校の創意工夫・自主的な取組を進めていく必要がある。本事業を活用した魅力ある学校づくりに対しての地域の評価も高い。今後は、小中一貫教育推進プランを基盤とした中学校区の特色ある取組への支援拡充も含め、他事業との関連性を見直し、事業内容の再構築を図りながら一層充実させていきたい。</small>		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	000553	重点事業区分	—	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	小中一貫教育推進事業		所属名	教育委員会事務局 学校教育課

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり		事業期間	全期
	政策	01	次代を築き担う、たくましい子どもを育む		根拠法令、根拠計画等	
施策	1102	教育の充実				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	中学校における不登校生徒の出現率		3%	2%		
	ふるさとを思い 志をもつ子の育成事業実施校数		5校	19校		
予算	予算事業名	小中一貫教育推進事業費			運営方法	直営
	予算事業コード	01-09-01-03-36-04			会計区分	一般会計

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市内全ての小中学校
意図 (どのような状態にするために)	学校・家庭・地域が一体となった教育基盤のもとに、小中学校が、義務教育9年間で子どもを育てるという意識を共有し、連続・一貫した指導を行うことで、生きる力の育成を図る。
手段 (どうするのか)	湖南学園で教育課程の編成と授業改善の実践を重ね、その成果を発信するとともに、中学校区を順次研究指定し、組織・教育内容・指導方法等、一貫教育の推進を支援する。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 中学校区6地域での小中一貫教育推進	平成24年度 中学校区6地域での小中一貫教育推進	平成25年度 中学校区6地域での小中一貫教育推進	平成26年度	平成27年度	
	年度別実績	小中一貫校「湖南学園」における9年間を見通した教育実践と研究発表会の実施 各中学校区でめざす子ども像の設定と推進体制の整備	小中一貫校「湖南学園」における9年間を見通した教育実践と研究発表会の実施 各中学校区でめざす子ども像の実現に向けた教員交流及び児童生徒交流	小中一貫校「湖南学園」における9年間を見通した教育実践と研究発表会の実施 各中学校区で幼保・高校への連携の拡大と取組の情報発信			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	4,783	3,875	2,914	0	0	
	直接経費 A	1,784	905	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	1,784	905	0	0	0
人件費 B	2,999	2,970	2,914	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.40	0.40	0.40	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	実施中学校区数	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
			校区	目標	18	18	17	0	0
			実績	18	18	17	0	0	
		(指標の説明) 小中一貫教育推進プランに示された年度ごとの内容を実施した中学校区数							
2				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
		(指標の説明)							
3				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
		(指標の説明)							

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 地域・家庭教育係 0857-20-3376</p> <p>【9次総の施策体系】 1102</p> <p>【予算計上の経過】 当初予算・P267(教021)</p> <p>【事業の概要】 湖南学園において、9年間を見通した教育課程の編成と授業改善について実践を積み重ね、授業公開を通してその成果を広く発信する。他の中学校区は、それを先行事例としながら、トリニティープラン等で培われた学校・家庭・地域が一体となった教育基盤のもとに、9年間を見通した一貫教育を推進する。</p> <p>【事業の成果】 ① 湖南学園における9年間を見通した教育実践と研究発表会の実施 ② 各中学校区における「小中一貫教育推進プラン」に基づいた教育実践 ③ 園小中で行う交流行事や合同授業、校区にある高校も含めたキャリア教育の取組</p> <p>【今後の課題・方向性】 「小中一貫教育推進プラン」の成果をもとに、家庭・地域と役割分担しながら、中学校区が一体となった教育を推進していくことが大切である。そのために、各中学校区が創造的な取組を推進しやすい支援が必要である。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	実施中学校区数	100%	100%	100%		
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	小・中学校が、9年間を見通して連続・一貫した指導を行うことは、教育効果を高め、よりよい教育を行う上で大変重要である。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	年次計画に基づいて、取組への指導助言・経費等の支援を行うことで、各中学校区の小中一貫した取組が進んできた。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	中学校区の取組内容に基づいて経費等の配分を行ったので、効果的に事業の実施ができた。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	各中学校区の実態に合わせてながら支援を行ったので、無理なく取組を進めることができた。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input checked="" type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	各中学校区では、小中一貫教育の重要性への意識が高まり、特色ある取組が進んできた。今後は、本事業の成果をもとに、家庭・地域と役割分担しながら、中学校区が一体となった教育を推進していくことが大切である。そのために、中学校区を単位とした事業を整理し、より創造的な取組を推進しやすいような支援を行う必要がある。	

# 事務事業評価シート

事務事業コード	000554	重点事業区分	リープロ1	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	モラルやマナー、ルールを大切にす風土(人)づくり事業		所属名	教育委員会事務局 学校教育課

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり		事業期間	全期
	政策	01	次代を築き担う、たくましい子どもを育む		根拠法令、根拠計画等	
施策	1102	教育の充実				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	中学校における不登校生徒の出現率		3%	2%	運営方法	外部委託
	ふるさとを思い 志をもつ子の育成事業実施校数		5校	19校	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	モラルやマナー・ルールを大切にす風土(人)づくり事業費		予算事業コード	01-09-01-03-36-06	

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	小中学校児童生徒・保護者・地域市民
意図 (どのような状態にするために)	各地域において青少年・大人がルールやマナーを主体的に守ろうとする雰囲気をつくり、子どもたちの周囲で様々な人同士が自然に声を掛け合える環境づくりを行う。
手段 (どうするのか)	「草の根活動」促進委託事業を実施するとともに、「モラル・マナー、ルール強調週間」を設定し、全市一斉の啓発キャンペーン活動を実施する。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 啓発活動 「草の根活動」促進事業委託	平成24年度 啓発活動 「草の根活動」促進事業委託	平成25年度 啓発活動 「草の根活動」促進事業委託	平成26年度 啓発活動 「草の根活動」促進事業委託	平成27年度 啓発活動 「草の根活動」促進事業委託	
	年度別実績	PTA関係団体、学校教育関係団体、社会教育関係団体及び地域活動団体等12団体で実施	PTA関係団体、学校教育関係団体、社会教育関係団体及び地域活動団体等11団体で実施	PTA関係団体、学校教育関係団体、社会教育関係団体及び地域活動団体等11団体で実施			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	884	1,224	364	0	0	
	直接経費 A	884	853	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	884	853	0	0	0
人件費 B	0	371	364	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.05	0.05	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
		地域で子どものモラルやマナー・ルールを大切にすため活動している団体への委託数	地区	目標	18	18	17	0	0	
			実績	12	11	11	0	0		
	(指標の説明)「草の根活動」促進事業の委託数									
	2		目標	0	0	0	0	0	0	
			実績	0	0	0	0	0	0	
(指標の説明)										
3		目標	0	0	0	0	0	0		
		実績	0	0	0	0	0	0		
(指標の説明)										

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 地域・家庭教育係 0857-20-3376</p> <p>【9次総の施策体系】 1102</p> <p>【予算計上の経過】 当初予算・P267(教022)</p> <p>【事業の概要】</p> <p>① モラル向上パンフレット・チラシ・ポスターの配布による啓発活動 ② モラルやマナーを大切にする地域の自主的な啓発活動の支援 (「草の根活動」促進委託事業)</p> <p>【事業の成果】</p> <p>① リーフレット、ポスター印刷等の配布 ・新入生児童、子育て・親育ち講座、鳥取市教育フォーラム等 ② 「草の根活動」事業委託@50,000円×11団体 ・挨拶運動、親子地域清掃活動、モラル等に関する講演会の実施等</p> <p>【今後の課題・方向性】 今後は、トリニティープランや小中一貫教育推進プランとともに、中学校区を単位とした事業を整理し、学校・家庭・地域が役割分担しながら、中学校区でのモラルやマナー・ルールを大切にする風土(人)づくりをさらに効果的に進める必要がある。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	地域で子どものモラルやマナー・ルールを大切にするため活動している団体への委託数	67%	61%	65%		
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	各地域において青少年・大人がルールやマナーを主体的に守ろうとする雰囲気づくりをすることは、子どもたちの成長にとって大変重要である。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 有効である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	実施団体数が目標値を下回っており、トリニティープランや小中一貫教育推進プランともあわせて、中学校区を単位とした事業の整理が必要である。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	地域の自主的で地道な啓発活動を支援する上で、1団体あたり5万円を委託することは妥当である。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input type="checkbox"/> 1. 公平である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	委託団体は各中学校区に1団体程度としているが、実施団体がない中学校区もある。全中学校区でモラル向上の風土づくりが進むよう、実施方法を工夫する必要がある。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input checked="" type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<b>担当課長の評価コメント</b>	<small>児童生徒と関わりの深い地域団体の取組を支援することは大切だが、実施団体数は目標値を下回っており、実施方法の改善が必要である。今後は、トリニティープランや小中一貫教育推進プランとともに、中学校区を単位とした事業を整理し、学校・家庭・地域が役割分担しながら、中学校区でのモラルやマナー・ルールを大切にする風土(人)づくりをさらに効果的に進めたい。</small>	

# 事務事業評価シート

事務事業コード	000549	重点事業区分	リープロ1	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	地域で学ぶ職場体験活動事業		所属名	教育委員会事務局 学校教育課

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり		事業期間	全期
	政策	01	次代を築き担う、たくましい子どもを育む		根拠法令、根拠計画等	
施策	1102	教育の充実				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	中学校における不登校生徒の出現率		3%	2%	運営方法	その他
	ふるさとを思い 志をもつ子の育成事業実施校数		5校	19校	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	地域で学ぶ職場体験活動事業費		予算事業コード	01-09-01-03-26-01	

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	中学校生徒
意図 (どのような状態にするために)	様々な社会体験活動を行う中で地域社会に学び、地域の人々と共に生きる心や感謝の心を育み、「生きる力」の基礎となる豊かな人間性や自ら課題を見つけて解決していこうとする意欲、態度を身につける。
手段 (どうするのか)	中学校2年生全員が数名ずつのグループに分かれ、地域の事業所や施設等で連続する5日間の体験活動を行う。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	年度別実績	職場体験活動	職場体験活動	職場体験活動	職場体験活動	職場体験活動	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	3,872	3,746	3,793	0	1,970	
	直接経費 A	3,122	3,003	3,064	0	1,970	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	3,122	3,003	3,064	0	1,970	
人件費 B	750	743	729	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		生徒アンケートの肯定的な回答率	%	目標	0	0	80	80	80
	実績	0	0	85.2	0	0			
2	(指標の説明)	体験活動後の生徒アンケートにおける肯定的な回答率							
	目標	0	0	0	0	0	0	0	
3	実績	0	0	0	0	0	0	0	
	(指標の説明)								



5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 指導係 0857-20-3357</p> <p>【9次総の施策体系】 1102</p> <p>【予算計上の経過】 当初予算・P267(教018)</p> <p>【事業の概要】 事業は、「鳥取市ワクワクとっとり推進協議会」に委託して実施し、市内中学校2年生全員が数名ずつのグループに分かれ、中学校区を中心に地域の事業所や施設等で連続する3～5日間の職場体験活動を行う。</p> <p>【事業の成果】 各中学校区では、「中学校区推進協議会」を中心に事業を実施しており、学校・地域・保護者の協働が進んでいる。生徒は、事業を通して働くことの意義や喜び、あいさつや言葉遣い等の社会人としてのマナーの大切さに改めて気付く機会となっている。</p> <p>【今後の課題・方向性】 新学習指導要領の中でキャリア教育の重要性は高まっており、本事業の意義は大きい。体験活動日数が、3～5日と弾力的になったが、依然としてアンケート結果は肯定的評価が高く、生徒にとって充実した活動となっている。 今後も活動事業所数を拡充したりボランティアを増やすなど、より地域との共同推進ができるよう取り組んでいきたい。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	生徒アンケートの肯定的な回答率			107%		
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	職業観・労働観を養うことを目的としてキャリア教育に位置づけられた事業であり、中学校2年生も時期的に適切である。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	生徒アンケートでは、「あなたにとってこの活動はどんな活動でしたか?」という問いに対して、「大変充実していた。」「充実していた。」という肯定的な回答が95%であり、成果のある事業である。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	ワクワクとっとり推進協議会へ委託しており、地域との協働により進められている。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	対象の中学校2年生は適切である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	<small>キャリア教育の中で中核をなす事業であり、「生きる力」を身につけ、しっかりとした職業観・労働観の育成に役立っている。地域で生徒を育むという意識の高揚を図り、鳥取市教育ビジョンめざす子ども像「ふるさとを思い、志を持つ子」の育成につながる有効な事業である。</small>	

# 事務事業評価シート

事務事業コード	000677	重点事業区分	リープロ1	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	学校給食食育推進事業		所属名	教育委員会事務局 体育課

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり		事業期間	平成25年度 ~ 全期
	政策	01	次代を築き担う、たくましい子どもを育む		根拠法令、根拠計画等	
施策	1102	教育の充実				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	中学校における不登校生徒の出現率		3%	2%	運営方法	直営
	ふるさとを思い 志をもつ子の育成事業実施校数		5校	19校	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	研修費(学校給食)		予算事業コード	01-09-05-03-06-03	

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	児童生徒、保護者、学校給食関係職員、食材生産者
意図 (どのような状態にするために)	食育・地産地消の推進を図る。
手段 (どうするのか)	普及啓発、研修、交流給食、親子料理教室を実施する。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 生産者と児童生徒の交流会・啓発資料の作成	平成24年度 生産者と児童生徒の交流会・啓発資料の作成	平成25年度 普及啓発資料の作成 全国学校給食研究協議会へ参加 交流給食	平成26年度 普及啓発資料の作成 全国学校給食研究協議会へ参加 交流給食 親子料理教室	平成27年度 普及啓発資料の作成 全国学校給食研究協議会へ参加 交流給食 親子料理教室	
	年度別実績	生産者と児童生徒の交流会・啓発資料の作成	生産者と児童生徒の交流会・啓発資料の作成	普及啓発資料の作成 全国学校給食研究協議会へ参加 交流給食 親子料理教室			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	198	240	1,169	0	500	
	直接経費 A	198	240	440	0	500	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	198	240	440	0	500
人件費 B	0	0	729	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	0.10	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	交流給食回数	回	目標	9	9	17	17	17	
				実績	17	17	13	0	0	
	(指標の説明) 児童生徒と食材生産者の交流給食回数。									
	2	親子料理教室回数	回	目標	0	0	5	5	5	
				実績	0	0	5	0	0	
	(指標の説明) 親子料理教室の開催回数。									
3			目標	0	0	0	0	0		
			実績	0	0	0	0	0		
(指標の説明)										

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】学校給食係 0857-20-3372</p> <p>【9次総の施策体系】1102</p> <p>【事業の概要】 学校給食の普及啓発、食育の推進、業務運営の充実・改善、並びに関係職員の資質向上を図る。</p> <p>【事業の成果】 市民の学校給食への理解を深めるため、関係職員における食育の充実を図る研修を行った。また、地産地消を通じた食育を推進するため、生産者等と児童生徒による交流給食会、親子料理教室を積極的に実施するほか、学校給食レシピ集を作成し、家庭に配布することにより、食育の推進や地元食材の普及啓発に努めた。</p> <p>【今後の課題・方向性】 今後も普及啓発、食育の推進、交流給食会及び親子料理教室の実施を行い、関係職員の資質向上を図る。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	交流給食回数	189%	189%	76%		
	2	親子料理教室回数			100%		
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	学校給食の普及啓発、食育の推進等のため妥当である
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	食育の充実を図る研修や生産者等と児童生徒との交流給食等は有効である
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	食育の推進や地元食材の推進も普及啓発の観点から有効である
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input type="checkbox"/> 1. 公平である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	全市域の学校において、食育推進事業を行うことにより、公平性を図っている

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	<small>献立の企画、地産地消及び食育の推進、事業の充実を図りながら、継続的に実施する。</small>	

# 事務事業評価シート

事務事業コード	000562	重点事業区分	—	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	校区再編事業		所属名	教育委員会事務局 学校教育課

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分	
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり		事業期間	全期	
	政策	01	次代を築き担う、たくましい子どもを育む		根拠法令、根拠計画等	鳥取市校区審議会条例	
施策	1102	教育の充実					
施策の目標	目標の種別			平成23年度	平成27年度	事業分類区分	
	中学校における不登校生徒の出現率			3%	2%		建設、整備
	ふるさとを思い 志をもつ子の育成事業実施校数			5校	19校	運営方法	直営
予算	小中学校施設の耐震化率			73%	96%	会計区分	一般会計
	予算事業名	校区審議会運営事業費		予算事業コード		01-09-01-03-59-01	

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市内全ての学校区
意図 (どのような状態にするために)	小中学校の児童生徒にとって、より良い教育環境を整える。
手段 (どうするのか)	校区審議会の答申をもとに、該当地域の住民や保護者等の意見を集約する中で、必要とされる校区再編を行う。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
内容	年度別計画	第10期校区審議会を開催し、校区再編にかかる平成21年度からの審議経過について中間報告書を公表する。佐治・用瀬地域の中学校にかかる校区再編について校区審議会にて審議して頂く。	第11期校区審議会を開催し、校区ごとの再編について審議していただき、方向性が決まった校区について随時答申を受ける。	第11期校区審議会を開催し、校区再編に係る最終答申を受ける。答申後、教育委員会として最終的な方向性を決定する。	第12期校区審議会を開催し、校区問題を審議していただく。	第12期校区審議会を開催し、校区問題を審議していただく。	
	年度別実績	第10期校区審議会を4回開催。全地域の校区のあり方及び地域からの校区再編を求める意見について審議を行い、佐治・用瀬地域の中学校のあり方について8月22日に答申した。引続き第11期校区審議会を3回開催。	第11期校区審議会を7回開催。西部地域の検討案を含めた全地域の校区のあり方について「中間とりまとめ」を公表し、地域や保護者等に対する説明会・意見交換会を継続して開催した。	第11期校区審議会を4回開催。西部地域の中学校あり方について地域や保護者等の意見も取り入れ答申した。また、全地域の校区のあり方について、審議経過のまとめと申し送り第12期校区審議会へ託し2回開催。			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	9,594	9,505	17,524	0	676	
	直接経費 A	598	594	768	0	676	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	598	594	768	0	676
人件費 B	8,996	8,911	16,756	0	0		
職員数の内訳	正規職員	1.20	1.20	2.30	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	1	審議会の開催回数	回	目標	8	8	8	6	6
				実績	7	7	6	0	0
	(指標の説明) 校区審議会の開催回数								
2				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 校区審議室 0857-20-3089</p> <p>【9次総の施策体系】 1102</p> <p>【事業の概要】 校区審議会において、平成18年度に策定した校区再編基本構想に基づき、平成21年度から平成25年度までの5年間を後期として広域的な観点から検討を行い、平成25年1月には「第11期 校区審議会中間とりまとめ」を公表するなど、必要に応じて校区再編に関する審議を行っている。</p> <p>【事業の成果】</p> <p>① 年間6回の校区審議会を開催し、西部地域の学校のあり方について答申を行った。 (青谷中・気高中学校をそれぞれ現在地で改築)</p> <p>② 「中間とりまとめ」を公表し、地域での議論を活発化させるために西部地域の学校のあり方を含めた全地域の校区のあり方について地域の意見交換会を実施した。 (市内58カ所において説明会・意見交換会を実施)</p> <p>③ 西部地域の中学校の現地視察を実施</p> <p>④ 第11期における校区審議経過のまとめを次期(第12期)校区審議会へ引継を行った。</p> <p>【今後の課題・方向性】 校区審議を進めるうえで地域の意向を重視しているため、「教育を考える会」の立ち上げを推進しており、平成25年度には3校区において新たに組織が立ち上がった。 パンフレットやPR動画「学校のカタチ」によってさらなるPRに努め、地域組織の意見を集約しながら審議を進めていく。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	審議会の開催回数	88%	88%	75%		
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p><b>目的の妥当性</b></p> <p>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である</p> <p><input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である</p> <p><input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない</p> <p><input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない</p>	校区の再編については、市が関与して行うべき事業であり、妥当である。
<p><b>事業の有効性</b></p> <p>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である</p> <p><input type="checkbox"/> 2. やや有効である</p> <p><input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない</p> <p><input type="checkbox"/> 4. 有効でない</p>	小中学校の児童生徒にとって、より良い教育環境を整えるための審議を行っており、有効な事業である。
<p><b>資源投入の効率性</b></p> <p>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である</p> <p><input type="checkbox"/> 2. やや効率的である</p> <p><input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない</p> <p><input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない</p>	該当地域の住民や保護者等の意見を集約する中で、必要とされる校区再編を行うには、市が実施することが効率的な事業である。
<p><b>サービスの公平性</b></p> <p>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である</p> <p><input type="checkbox"/> 2. やや公平である</p> <p><input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない</p> <p><input type="checkbox"/> 4. 公平ではない</p>	市内すべての学校区を対象として審議の対象としており、公平である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント</p> <p>より良い教育環境の構築のため、校区のあり方を検討する校区審議会の審議は大変重要である。このため、平成25年1月に「中間とりまとめ」で公表した内容について、今後も地域や保護者等へ正確な情報提供や選択肢を説明し、丁寧に意見集約していく必要がある。また、審議会において「地域で議論する組織づくり」の推進と併せ、中学校区エリア等ごとに議論の方向性(テーマ)を提案していく手法が検討されるなど、精力的に取り組まれており、学校区に関する課題に対する審議は今後も継続していく必要がある。</p>		



5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問い合わせ先】学校施設係 0857-20-3353</p> <p>【9次総の施策体系】1102</p> <p>【予算計上の経過】 H24. 2月補正・P13(教001)(繰越明許費) 当初予算・P257(教001)</p> <p>【事業の概要】 明德小学校の校舎のうち、昭和52、53年に建設の校舎2棟について、耐震補強、外壁改修、屋上防水、床改修工事を行った。</p> <p>【事業の成果】 地震発生時における児童・教職員の安全を確保するとともに、非常時における避難場所としての機能を果たすことができる。</p> <p>【今後の課題・方向性】 平成25年度で改修完了。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	小学校施設の耐震整備の棟数	100%	100%	100%		
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	児童・生徒の安全及び避難場所確保のため妥当である。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	児童・生徒の安全及び避難場所確保のため有効である。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	施工方法等の検討を行い効率的に行っている。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	耐震の低いものから行い公平である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input checked="" type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント 平成25年度で改修完了。		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	000685	重点事業区分	—	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	小学校施設耐震補強事業(美和小)		所属名	教育委員会事務局 教育総務課

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり		事業期間	平成24年度 ~ 平成25年度
	政策	01	次代を築き担う、たくましい子どもを育む		根拠法令、根拠計画等	
施策	1102	教育の充実				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	建設、整備
	中学校における不登校生徒の出現率		3%	2%	運営方法	直営
	ふるさとを思い 志をもつ子の育成事業実施校数		5校	19校	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	美和小学校校舎耐震補強事業費			予算事業コード	01-09-02-03-35-01

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	美和小学校校舎
意図 (どのような状態にするために)	地震発生時における児童・教職員の安全を確保するとともに、非常時における避難場所としての機能を果たす。
手段 (どうするのか)	耐震補強工事を行う。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
内容	年度別計画		耐震補強計画作成及び 評定取得業務 耐震補強(大規模改造) )実施設計業務	耐震補強工事			
	年度別実績		耐震補強計画作成及び 評定取得業務 耐震補強(大規模改造) )実施設計業務	耐震補強工事			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	0	594	2,186	0	0	
	直接経費 A	0	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	0	0	0	0	0
人件費 B	0	594	2,186	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.08	0.30	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	1	小学校施設の耐震整備の棟数	棟	目標	5	13	7	5	8
				実績	5	13	7	0	0
	(指標の説明)								
2				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)								
3				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)								



5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問い合わせ先】学校施設係 0857-20-3353</p> <p>【9次総の施策体系】1102</p> <p>【予算計上の経過】 H24. 2月補正・P13(教002)(繰越明許費)</p> <p>【事業の概要】 美和小学校の校舎のうち、昭和42年に建設の校舎1棟について、耐震補強工事を行った。</p> <p>【事業の成果】 地震発生時における児童・教職員の安全を確保するとともに、非常時における避難場所としての機能を果たすことができる。</p> <p>【今後の課題・方向性】 平成25年度で改修完了。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	小学校施設の耐震整備の棟数	100%	100%	100%		
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	児童・生徒の安全及び避難場所確保のため妥当である。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	児童・生徒の安全及び避難場所確保のため有効である。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	施工方法等の検討を行い効率的に行っている。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	耐震性の低いものから行い公平である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input checked="" type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	平成25年度で改修完了。	

# 事務事業評価シート

事務事業コード	000686	重点事業区分	-	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	小学校施設耐震補強事業(倉田小)		所属名	教育委員会事務局 教育総務課

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり		事業期間	平成25年度 ~ 平成26年度
	政策	01	次代を築き担う、たくましい子どもを育む		根拠法令、根拠計画等	
施策	1102	教育の充実				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	建設、整備
	中学校における不登校生徒の出現率		3%	2%	運営方法	直営
	ふるさとを思い 志をもつ子の育成事業実施校数		5校	19校	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	倉田小学校校舎耐震補強事業費			予算事業コード	01-09-02-03-36-01

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	倉田小学校校舎
意図 (どのような状態にするために)	地震発生時における児童・教職員の安全を確保するとともに、非常時における避難場所としての機能を果たす。
手段 (どうするのか)	耐震補強工事を行う。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度	平成24年度	平成25年度 耐震補強計画作成及び 評定取得業務 耐震補強(大規模改造) 実施設計業務	平成26年度 耐震補強工事	平成27年度	
	年度別実績			耐震補強計画作成及び 評定取得業務 耐震補強(大規模改造) 実施設計業務			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	0	0	8,408	0	0	
	直接経費 A	0	0	7,679	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	0	0	7,679	0	0
人件費 B	0	0	729	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	0.10	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	小学校施設の耐震整備の棟数	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		(指標の説明)	棟	目標	5	13	7	5	8
			実績	5	13	7	0	0	
	2		目標	0	0	0	0	0	
		(指標の説明)	実績	0	0	0	0	0	
	3		目標	0	0	0	0	0	
(指標の説明)		実績	0	0	0	0	0		

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問い合わせ先】学校施設係 0857-20-3353</p> <p>【9次総の施策体系】1102</p> <p>【予算計上の経過】 当初予算・P257(教002)</p> <p>【事業の概要】 倉田小学校の校舎のうち、昭和44、54年に建設の校舎2棟について、耐震補強工事を平成26年度に予定している。</p> <p>【事業の成果】 平成26年度工事実施を予定。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	小学校施設の耐震整備の棟数	100%	100%	100%		
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	児童・生徒の安全及び避難場所確保のため妥当である。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	児童・生徒の安全及び避難場所確保のため有効である。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	施工方法等の検討を行い効率的に行っている。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	耐震性の低いものから行い公平である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント 平成26年度工事実施を予定。		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	000687	重点事業区分	—	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	小学校施設耐震補強事業(浜坂小屋内運動場)		所属名	教育委員会事務局 教育総務課

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり		事業期間	平成27年度 ~ 平成28年度
	政策	01	次代を築き担う、たくましい子どもを育む		根拠法令、根拠計画等	
施策	1102	教育の充実				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	建設、整備
	中学校における不登校生徒の出現率		3%	2%	運営方法	直営
	ふるさとを思い 志をもつ子の育成事業実施校数		5校	19校	会計区分	一般会計
予算	予算事業名			予算事業コード		

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	浜坂小学校屋内運動場
意図 (どのような状態にするために)	地震発生時における児童・教職員の安全を確保するとともに、非常時における避難場所としての機能を果たす。
手段 (どうするのか)	耐震補強工事に併せて大規模改造工事を行ない、施設の劣化防止や機能回復を図る。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	年度別実績					耐震補強計画作成及び 評定取得業務 耐震補強(大規模改造) )実施設計業務	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	0	0	0	0	17,000	
	直接経費 A	0	0	0	0	17,000	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	16,100
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	0	0	0	0	900
人件費 B	0	0	0	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		小学校施設の耐震整備の棟数	棟	目標	5	13	7	5	8
			実績	5	13	7	0	0	
		(指標の説明)							
	2	目標	0	0	0	0	0		
		実績	0	0	0	0	0		
	(指標の説明)								
3	目標	0	0	0	0	0			
	実績	0	0	0	0	0			
	(指標の説明)								

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 学校施設係 0857-20-3353</p> <p>【9次総の施策体系】 1102</p> <p>【事業の概要】          浜坂小学校の昭和49年に建設の屋内運動場について、現在のクラス数による基準面積の半分程度の広さしかない。          また、同年建築同構造の屋内運動場が再調査により耐震性が低いことが判明したことがあり、再調査及び増改築を含めた検討を行い、実施計画を予定する。</p> <table border="0" style="margin-left: 40px;"> <tr> <td>校舎</td><td>建築年</td><td>構造</td><td>延床面積</td><td>I s 値</td></tr> <tr> <td></td><td>S 4 9 年</td><td>鉄骨造平屋建</td><td>6 3 2 m<sup>2</sup></td><td>0 . 7 7</td></tr> </table> <p>【事業の成果】 教育環境の改善を図る。</p> <p>【今後の課題・方向性】 平成27年度設計、平成28年度工事実施を予定。</p>	校舎	建築年	構造	延床面積	I s 値		S 4 9 年	鉄骨造平屋建	6 3 2 m <sup>2</sup>	0 . 7 7
	校舎	建築年	構造	延床面積	I s 値						
	S 4 9 年	鉄骨造平屋建	6 3 2 m <sup>2</sup>	0 . 7 7							

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	小学校施設の耐震整備の棟数	100%	100%	100%		
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か            ・対象と意図は現行でよいか            ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	教育環境を整えるため妥当である。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか            ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	教育環境を整えるため有効である。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か            ・高い費用対効果が得られているか            ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	施設規模、施工方法の検討を行い効率的に行っている。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か            ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	耐震性の低いものから順次行い公平である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	平成27年度設計、平成28年度工事実施を予定。	

# 事務事業評価シート

事務事業コード	002682	重点事業区分	—	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	小学校施設耐震補強事業(稲葉山小)		所属名	教育委員会事務局 教育総務課

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり		事業期間	平成24年度 ~ 平成25年度
	政策	01	次代を築き担う、たくましい子どもを育む		根拠法令、根拠計画等	
施策	1102	教育の充実				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	建設、整備
	中学校における不登校生徒の出現率		3%	2%	運営方法	直営
	ふるさとを思い 志をもつ子の育成事業実施校数		5校	19校	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	稲葉山小学校校舎耐震補強事業費			予算事業コード	01-09-02-03-33-01

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	稲葉山小学校校舎
意図 (どのような状態にするために)	地震発生時における児童・教職員の安全を確保するとともに、非常時における避難場所としての機能を果たす。
手段 (どうするのか)	耐震補強工事を行う。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	年度別実績			耐震補強工事			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	0	5,222	2,186	0	0	
	直接経費 A	0	5,222	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	4,600	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	0	622	0	0	0
人件費 B	0	0	2,186	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	0.30	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
		小学校施設の耐震整備の棟数	棟	目標	0	0	7	5	8	
			実績	0	0	7	0	0		
	(指標の説明)									
	2		目標		0	0	0	0	0	
			実績		0	0	0	0	0	
(指標の説明)										
3		目標		0	0	0	0	0		
		実績		0	0	0	0	0		
(指標の説明)										

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問い合わせ先】学校施設係 0857-20-3353</p> <p>【9次総の施策体系】1102</p> <p>【予算計上の経過】 H24. 1月補正・P1(教001)</p> <p>【事業の概要】 稲葉山小学校の校舎のうち、昭和46、48、50年に建設の校舎4棟について、耐震補強工事を行った。</p> <p>【事業の成果】 地震発生時における児童・教職員の安全を確保するとともに、非常時における避難場所としての機能を果たすことができる。</p> <p>【今後の課題・方向性】 平成25年度で改修完了。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	小学校施設の耐震整備の棟数			100%		
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	児童・生徒の安全及び避難場所確保のため妥当である。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	児童・生徒の安全及び避難場所確保のため有効である。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	施工方法等の検討を行い効率的に行っている。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	耐震性の低いものから行い公平である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input checked="" type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	平成25年度で改修完了。	

# 事務事業評価シート

事務事業コード	002954	重点事業区分	—	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	小学校施設耐震補強事業(大正小)		所属名	教育委員会事務局 教育総務課

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり		事業期間	平成25年度 ~ 平成26年度
	政策	01	次代を築き担う、たくましい子どもを育む		根拠法令、根拠計画等	
施策	1102	教育の充実				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	建設、整備
	中学校における不登校生徒の出現率		3%	2%	運営方法	直営
	ふるさとを思い 志をもつ子の育成事業実施校数		5校	19校	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	大正小学校校舎耐震補強事業費			予算事業コード	01-09-02-03-38-01

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	大正小学校校舎
意図 (どのような状態にするために)	地震発生時における児童・教職員の安全を確保するとともに、非常時における避難場所としての機能を果たす。
手段 (どうするのか)	耐震補強工事を行う。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	年度別実績			耐震補強計画作成及び 評定取得業務 耐震補強実施設計業務	耐震補強工事		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	0	0	7,521	0	0	
	直接経費 A	0	0	6,792	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	5,700	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	0	0	1,092	0	0
人件費 B	0	0	729	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	0.10	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
		小学校施設の耐震整備の棟数	棟	目標	0	0	7	5	8	
			実績	0	0	7	0	0		
	(指標の説明)									
	2		目標		0	0	0	0	0	
			実績		0	0	0	0	0	
(指標の説明)										
3		目標		0	0	0	0	0		
		実績		0	0	0	0	0		
(指標の説明)										



5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問い合わせ先】学校施設係 0857-20-3353</p> <p>【9次総の施策体系】1102</p> <p>【予算計上の経過】 当初予算・P258(教003)</p> <p>【事業の概要】 大正小学校の校舎のうち、昭和54年に建設の校舎1棟について、耐震補強工事を平成26年度に予定している。</p> <p>【事業の成果】 地震発生時における児童・教職員の安全を確保するとともに、非常時における避難所としての機能を果たすことができる。</p> <p>【今後の課題・方向性】 平成26年度工事実施を予定。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	小学校施設の耐震整備の棟数			100%		
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	児童・生徒の安全及び避難場所確保のため妥当である。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	児童・生徒の安全及び避難場所確保のため有効である。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	施工方法等の検討を行い効率的に行っている。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	耐震性の低いものから行い公平である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	平成26年度工事実施を予定。	

# 事務事業評価シート

事務事業コード	002955	重点事業区分	—	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	小学校施設耐震補強事業(米里小屋内運動場)		所属名	教育委員会事務局 教育総務課

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり		事業期間	平成25年度 ~ 平成26年度
	政策	01	次代を築き担う、たくましい子どもを育む		根拠法令、根拠計画等	
施策	1102	教育の充実				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	建設、整備
	中学校における不登校生徒の出現率		3%	2%	運営方法	直営
	ふるさとを思い 志をもつ子の育成事業実施校数		5校	19校	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	米里小学校屋内運動場耐震補強事業費			予算事業コード	01-09-02-03-40-01

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	米里小学校屋内運動場
意図 (どのような状態にするために)	地震発生時における児童・教職員の安全を確保するとともに、非常時における避難場所としての機能を果たす。
手段 (どうするのか)	耐震補強工事に併せて大規模改造工事を行ない、施設の劣化防止や機能回復を図る。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	年度別実績			耐震補強計画作成及び 評定取得業務 耐震補強(大規模改造) )実施設計業務	耐震補強工事 大規模改造工事		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	0	0	5,889	0	0	
	直接経費 A	0	0	5,160	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	4,600	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	0	0	560	0	0
人件費 B	0	0	729	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	0.10	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	小学校施設の耐震整備の棟数	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		(指標の説明)	棟	目標	0	0	7	5	8
	2			実績	0	0	7	0	0
		(指標の説明)		目標	0	0	0	0	0
	3			実績	0	0	0	0	0
		(指標の説明)		目標	0	0	0	0	0

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問い合わせ先】学校施設係 0857-20-3353</p> <p>【9次総の施策体系】1102</p> <p>【予算計上の経過】 当初予算・P258(総004)</p> <p>【事業の概要】 米里小学校の屋内運動場について、耐震補強工事を平成26年度に予定している。</p> <p>【事業の成果】 地震発生時における児童・教職員の安全を確保するとともに、非常時における避難場所としての機能を果たすことができる。</p> <p>【今後の課題・方向性】 平成25年度設計、平成26年度工事実施を予定。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標 達成 率	1	小学校施設の耐震整備の棟数			100%		
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	児童・生徒の安全及び避難場所確保のため妥当である。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	児童・生徒の安全及び避難場所確保のため有効である。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	施工方法等の検討を行い効率的に行っている。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	耐震性の低いものから行い公平である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント 平成25年度設計、平成26年度工事実施を予定。		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	002956	重点事業区分	—	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	小学校施設耐震補強事業(美保小屋内運動場)		所属名	教育委員会事務局 教育総務課

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり		事業期間	平成25年度 ~ 平成26年度
	政策	01	次代を築き担う、たくましい子どもを育む		根拠法令、根拠計画等	
施策	1102	教育の充実				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	建設、整備
	中学校における不登校生徒の出現率		3%	2%	運営方法	直営
	ふるさとを思い 志をもつ子の育成事業実施校数		5校	19校	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	美保小学校屋内運動場耐震補強事業費			予算事業コード	01-09-02-03-41-01
小中学校施設の耐震化率		73%	96%			

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	美保小学校屋内運動場
意図 (どのような状態にするために)	地震発生時における児童・教職員の安全を確保するとともに、非常時における避難場所としての機能を果たす。
手段 (どうするのか)	耐震補強工事に併せて大規模改造工事を行ない、施設の劣化防止や機能回復を図る。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	年度別実績			耐震補強計画作成及び 評定取得業務 耐震補強(大規模改造) )実施設計業務	耐震補強工事 大規模改造工事		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	0	0	5,299	0	0	
	直接経費 A	0	0	4,570	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	3,800	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	0	0	770	0	0
人件費 B	0	0	729	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	0.10	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	小学校施設の耐震整備の棟数	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		(指標の説明)	棟	目標	0	0	7	5	8
	2			実績	0	0	7	0	0
		(指標の説明)		目標	0	0	0	0	0
	3			実績	0	0	0	0	0
		(指標の説明)		目標	0	0	0	0	0

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問い合わせ先】学校施設係 0857-20-3353</p> <p>【9次総の施策体系】1102</p> <p>【予算計上の経過】 当初予算・P259(総005)</p> <p>【事業の概要】 美保小学校の屋内運動場について、耐震補強工事を平成26年度に予定している。</p> <p>【事業の成果】 地震発生時における児童・教職員の安全を確保するとともに、非常時における避難場所としての機能を果たすことができる。</p> <p>【今後の課題・方向性】 平成25年度設計、平成26年度工事実施を予定。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標 達成 率	1	小学校施設の耐震整備の棟数			100%		
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	児童・生徒の安全及び避難場所確保のため妥当である。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	児童・生徒の安全及び避難場所確保のため有効である。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	施工方法等の検討を行い効率的に行っている。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	耐震性の低いものから行い公平である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント 平成25年度設計、平成26年度工事実施を予定。		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	002978	重点事業区分	-	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	小学校施設耐震補強事業(神戸小)		所属名	教育委員会事務局 教育総務課

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり		事業期間	平成26年度 ~ 平成27年度
	政策	01	次代を築き担う、たくましい子どもを育む		根拠法令、根拠計画等	
施策	1102	教育の充実				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	建設、整備
	中学校における不登校生徒の出現率		3%	2%	運営方法	直営
	ふるさとを思い 志をもつ子の育成事業実施校数		5校	19校	会計区分	一般会計
予算	予算事業名			予算事業コード		

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	神戸小学校校舎
意図 (どのような状態にするために)	地震発生時における児童・教職員の安全を確保するとともに、非常時における避難場所としての機能を果たす。
手段 (どうするのか)	耐震補強工事を行う。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度 耐震補強計画作成及び 評定取得業務 耐震補強実施設計業務	平成27年度 耐震補強工事	
	年度別実績						
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	0	0	0	0	49,852	
	直接経費 A	0	0	0	0	49,852	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	18,788
		地方債	0	0	0	0	28,500
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	0	0	0	0	2,564
人件費 B	0	0	0	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		小学校施設の耐震整備の棟数	棟	目標	0	0	7	5	8
			実績	0	0	7	0	0	
		(指標の説明)							
	2	目標	0	0	0	0	0		
		実績	0	0	0	0	0		
	(指標の説明)								
3	目標	0	0	0	0	0			
	実績	0	0	0	0	0			
	(指標の説明)								

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問い合わせ先】学校施設係 0857-20-3353</p> <p>【9次総の施策体系】1102</p> <p>【予算計上の経過】</p> <p>【事業の概要】 神戸小学校の校舎について、耐震補強工事を平成27年度に予定している。</p> <p>【事業の成果】 地震発生時における児童・教職員の安全を確保するとともに、非常時における避難所としての機能を果たすことができる。</p> <p>【今後の課題・方向性】 平成27年度工事実施を予定。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	小学校施設の耐震整備の棟数			100%		
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	児童・生徒の安全及び避難場所確保のため妥当である。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	児童・生徒の安全及び避難場所確保のため有効である。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	施工方法等の検討を行い効率的に行っている。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	耐震性の低いものから行い公平である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>平成26年度設計、平成27年度工事実施を予定。</small>		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	002979	重点事業区分	-	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	小学校施設耐震補強事業(西郷小)		所属名	教育委員会事務局 教育総務課

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり		事業期間	平成26年度 ~ 平成27年度
	政策	01	次代を築き担う、たくましい子どもを育む		根拠法令、根拠計画等	
施策	1102	教育の充実				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	建設、整備
	中学校における不登校生徒の出現率		3%	2%	運営方法	直営
	ふるさとを思い 志をもつ子の育成事業実施校数		5校	19校	会計区分	一般会計
予算	予算事業名			予算事業コード		

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	西郷小学校校舎
意図 (どのような状態にするために)	地震発生時における児童・教職員の安全を確保するとともに、非常時における避難場所としての機能を果たす。
手段 (どうするのか)	耐震補強工事を行う。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	年度別実績				耐震補強計画作成及び 評定取得業務 耐震補強実施設計業務	耐震補強工事	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	0	0	0	0	81,734	
	直接経費 A	0	0	0	0	81,734	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	24,363
		地方債	0	0	0	0	53,500
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	0	0	0	0	3,871
人件費 B	0	0	0	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		小学校施設の耐震整備の棟数	棟	目標	0	0	7	5	8
			実績	0	0	7	0	0	
		(指標の説明)							
	2	目標	0	0	0	0	0		
		実績	0	0	0	0	0		
	(指標の説明)								
3	目標	0	0	0	0	0			
	実績	0	0	0	0	0			
	(指標の説明)								



5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問い合わせ先】学校施設係 0857-20-3353</p> <p>【9次総の施策体系】1102</p> <p>【予算計上の経過】</p> <p>【事業の概要】 西郷小学校の校舎について、耐震補強工事を平成27年度に予定している。</p> <p>【事業の成果】 地震発生時における児童・教職員の安全を確保するとともに、非常時における避難所としての機能を果たすことができる。</p> <p>【今後の課題・方向性】 平成26年度設計、平成27年度工事実施を予定。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標 達成 率	1	小学校施設の耐震整備の棟数			100%		
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	児童・生徒の安全及び避難場所確保のため妥当である。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	児童・生徒の安全及び避難場所確保のため有効である。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	施工方法等の検討を行い効率的に行っている。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	耐震性の低いものから行い公平である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>平成26年度設計、平成27年度工事実施を予定。</small>		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	002980	重点事業区分	-	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	小学校施設耐震補強事業(米里小)		所属名	教育委員会事務局 教育総務課

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり		事業期間	平成26年度 ~ 平成27年度
	政策	01	次代を築き担う、たくましい子どもを育む		根拠法令、根拠計画等	
施策	1102	教育の充実				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	建設、整備
	中学校における不登校生徒の出現率		3%	2%	運営方法	直営
	ふるさとを思い 志をもつ子の育成事業実施校数		5校	19校	会計区分	
予算	予算事業名			予算事業コード		

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	米里小学校校舎
意図 (どのような状態にするために)	地震発生時における児童・教職員の安全を確保するとともに、非常時における避難場所としての機能を果たす。
手段 (どうするのか)	耐震補強工事を行う。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	年度別実績				耐震補強計画作成及び 評定取得業務 耐震補強実施設計業務	耐震補強工事	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	0	0	0	0	87,602	
	直接経費 A	0	0	0	0	87,602	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	15,663
		地方債	0	0	0	0	53,200
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	0	0	0	0	18,739
人件費 B	0	0	0	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
		小学校施設の耐震整備の棟数	棟	目標	0	0	7	5	8	
			実績	0	0	7	0	0		
	(指標の説明)									
	2		目標		0	0	0	0	0	
			実績		0	0	0	0	0	
(指標の説明)										
3		目標		0	0	0	0	0		
		実績		0	0	0	0	0		
(指標の説明)										

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問い合わせ先】学校施設係 0857-20-3353</p> <p>【9次総の施策体系】1102</p> <p>【予算計上の経過】</p> <p>【事業の概要】 米里小学校の校舎について、耐震補強工事を平成27年度に予定している。</p> <p>【事業の成果】 地震発生時における児童・教職員の安全を確保するとともに、非常時における避難所としての機能を果たすことができる。</p> <p>【今後の課題・方向性】 平成26年度設計、平成27年度工事実施を予定。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標 達成 率	1	小学校施設の耐震整備の棟数			100%		
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	児童・生徒の安全及び避難場所確保のため妥当である。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	児童・生徒の安全及び避難場所確保のため有効である。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	施工方法等の検討を行い効率的に行っている。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	耐震性の低いものから行い公平である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>平成26年度設計、平成27年度工事実施を予定。</small>		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	002981	重点事業区分	-	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	小学校施設耐震補強事業(浜村小)		所属名	教育委員会事務局 教育総務課

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり		事業期間	平成26年度 ~ 平成27年度
	政策	01	次代を築き担う、たくましい子どもを育む		根拠法令、根拠計画等	
施策	1102	教育の充実				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	建設、整備
	中学校における不登校生徒の出現率		3%	2%	運営方法	直営
	ふるさとを思い 志をもつ子の育成事業実施校数		5校	19校	会計区分	一般会計
	小中学校施設の耐震化率		73%	96%		
予算	予算事業名			予算事業コード		

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	浜村小学校校舎
意図 (どのような状態にするために)	地震発生時における児童・教職員の安全を確保するとともに、非常時における避難場所としての機能を果たす。
手段 (どうするのか)	耐震補強工事に併せて大規模改造工事を行ない、施設の劣化防止や機能回復を図る。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	年度別実績				耐震補強計画作成及び 評定取得業務 耐震補強(大規模改造) )実施設計業務	耐震補強工事 大規模改造工事	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	0	0	0	0	94,090	
	直接経費 A	0	0	0	0	94,090	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	20,213
		地方債	0	0	0	0	54,600
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	0	0	0	0	19,277
人件費 B	0	0	0	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
				目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0	
	(指標の説明)								
	2			目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									
3			目標	0	0	0	0	0	
			実績	0	0	0	0	0	
(指標の説明)									

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問い合わせ先】学校施設係 0857-20-3353</p> <p>【9次総の施策体系】1102</p> <p>【予算計上の経過】</p> <p>【事業の概要】 浜村小学校の校舎について、耐震補強工事を平成27年度に予定している。</p> <p>【事業の成果】 地震発生時における児童・教職員の安全を確保するとともに、非常時における避難所としての機能を果たすことができる。</p> <p>【今後の課題・方向性】 平成26年度設計、平成27年度工事実施を予定。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標 達成 率	1						
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	児童・生徒の安全及び避難場所確保のため妥当である。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	児童・生徒の安全及び避難場所確保のため有効である。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	施工方法等の検討を行い効率的に行っている。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	耐震性の低いものから行い公平である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>平成26年度設計、平成27年度工事実施を予定。</small>		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	002982	重点事業区分	—	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	小学校施設耐震補強事業(河原第一小)		所属名	教育委員会事務局 教育総務課

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり		事業期間	平成26年度 ~ 平成27年度
	政策	01	次代を築き担う、たくましい子どもを育む		根拠法令、根拠計画等	
施策	1102	教育の充実				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	建設、整備
	中学校における不登校生徒の出現率		3%	2%	運営方法	直営
	ふるさとを思い 志をもつ子の育成事業実施校数		5校	19校	会計区分	一般会計
予算	予算事業名			予算事業コード		
小中学校施設の耐震化率		73%	96%			

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	河原第一小学校校舎
意図 (どのような状態にするために)	地震発生時における児童・教職員の安全を確保するとともに、非常時における避難場所としての機能を果たす。
手段 (どうするのか)	耐震補強工事を行う。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	年度別実績				耐震補強計画作成及び 評定取得業務 耐震補強実施設計業務	耐震補強工事	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	0	0	0	0	72,900	
	直接経費 A	0	0	0	0	72,900	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	42,050
		地方債	0	0	0	0	22,300
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	0	0	0	0	8,550
人件費 B	0	0	0	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
		小学校施設の耐震整備の棟数	棟	目標	0	0	7	5	8	
			実績	0	0	7	0	0		
	(指標の説明)									
	2		目標		0	0	0	0	0	
			実績		0	0	0	0	0	
(指標の説明)										
3		目標		0	0	0	0	0		
		実績		0	0	0	0	0		
(指標の説明)										

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問い合わせ先】学校施設係 0857-20-3353</p> <p>【9次総の施策体系】1102</p> <p>【予算計上の経過】</p> <p>【事業の概要】 河原第一小学校の校舎について、耐震補強工事を平成27年度に予定している。</p> <p>【事業の成果】 地震発生時における児童・教職員の安全を確保するとともに、非常時における避難所としての機能を果たすことができる。</p> <p>【今後の課題・方向性】 平成26年度設計、平成27年度工事実施を予定。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標 達成 率	1	小学校施設の耐震整備の棟数			100%		
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	児童・生徒の安全及び避難場所確保のため妥当である。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	児童・生徒の安全及び避難場所確保のため有効である。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	施工方法等の検討を行い効率的に行っている。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	耐震性の低いものから行い公平である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>平成26年度設計、平成27年度工事実施を予定。</small>		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	002983	重点事業区分	—	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	小学校施設耐震補強事業(明德小屋内運動場)		所属名	教育委員会事務局 教育総務課

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり		事業期間	平成26年度 ~ 平成27年度
	政策	01	次代を築き担う、たくましい子どもを育む		根拠法令、根拠計画等	
施策	1102	教育の充実				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	建設、整備
	中学校における不登校生徒の出現率		3%	2%	運営方法	直営
	ふるさとを思い 志をもつ子の育成事業実施校数		5校	19校	会計区分	一般会計
予算	予算事業名			予算事業コード		

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	明德小学校屋内運動場
意図 (どのような状態にするために)	地震発生時における児童・教職員の安全を確保するとともに、非常時における避難場所としての機能を果たす。
手段 (どうするのか)	耐震補強工事を行う。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	年度別実績				耐震補強計画作成及び 評定取得業務 耐震補強実施設計業務	耐震補強工事	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	0	0	0	0	32,878	
	直接経費 A	0	0	0	0	32,878	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	12,263
		地方債	0	0	0	0	14,700
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	0	0	0	0	5,915
人件費 B	0	0	0	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		小学校施設の耐震整備の棟数	棟	目標	0	0	7	5	8
			実績	0	0	7	0	0	
		(指標の説明)							
	2		目標		0	0	0	0	0
			実績		0	0	0	0	0
	(指標の説明)								
3		目標		0	0	0	0	0	
		実績		0	0	0	0	0	
	(指標の説明)								



5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問い合わせ先】学校施設係 0857-20-3353</p> <p>【9次総の施策体系】1102</p> <p>【予算計上の経過】</p> <p>【事業の概要】 明德小学校の屋内運動場について、耐震補強工事を平成27年度に予定している。</p> <p>【事業の成果】 地震発生時における児童・教職員の安全を確保するとともに、非常時における避難所としての機能を果たすことができる。</p> <p>【今後の課題・方向性】 平成26年度設計、平成27年度工事実施を予定。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標 達成 率	1	小学校施設の耐震整備の棟数			100%		
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	児童・生徒の安全及び避難場所確保のため妥当である。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	児童・生徒の安全及び避難場所確保のため有効である。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	施工方法等の検討を行い効率的に行っている。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	耐震性の低いものから行い公平である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>平成26年度設計、平成27年度工事実施を予定。</small>		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	000656	重点事業区分	—	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	中学校施設整備(耐震補強以外)事業(南中学校舎改築)		所属名	教育委員会事務局 教育総務課

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり		事業期間	平成21年度 ~ 平成25年度
	政策	01	次代を築き担う、たくましい子どもを育む		根拠法令、根拠計画等	
施策	1102	教育の充実				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	建設、整備
	中学校における不登校生徒の出現率		3%	2%	運営方法	直営
	ふるさとを思い 志をもつ子の育成事業実施校数		5校	19校	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	南中学校校舎改築事業費			予算事業コード	01-09-03-03-15-01

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	南中学校校舎 (教室棟)
意図 (どのような状態にするために)	地震発生時における生徒・教職員の安全を確保するとともに、非常時における避難場所としての機能を果たす。
手段 (どうするのか)	既存の教室棟を解体し改築工事を行なう。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 改築工事	平成24年度 改築工事	平成25年度 改築工事	平成26年度	平成27年度	
	年度別実績	改築工事	改築工事	改築工事			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	322,584	293,845	729	0	0	
	直接経費 A	320,335	291,617	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	87,442	69,004	0	0	0
		地方債	231,000	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	1,893	222,613	0	0	0	
人件費 B	2,249	2,228	729	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.30	0.30	0.10	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
		中学校施設の耐震整備の棟数	棟	目標	2	5	2	10	2	
			実績	2	6	2	0	0		
	(指標の説明)									
	2		目標		0	0	0	0	0	
			実績		0	0	0	0	0	
(指標の説明)										
3		目標		0	0	0	0	0		
		実績		0	0	0	0	0		
(指標の説明)										

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問い合わせ先】学校施設係 0857-20-3353</p> <p>【9次総の施策体系】1102</p> <p>【予算計上の経過】 当初予算・P259(教006)</p> <p>【事業の概要】 南中学校校舎のうち、昭和43, 44(2棟), 45年に建設の校舎について、改築を行った。</p> <p>【事業の成果】 地震発生時における児童・教職員の安全を確保するとともに、非常時における避難所としての機能を果たすことができる。</p> <p>【今後の課題・方向性】 平成25年度で改築完了。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	中学校施設の耐震整備の棟数	100%	120%	100%		
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	児童・生徒の安全及び避難場所確保のため妥当である。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	児童・生徒の安全及び避難場所確保のため有効である。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	施工方法等の検討を行い効率的に行っている。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	耐震性の低いものから行い公平である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input checked="" type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント 平成25年度で改築完了。		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	000659	重点事業区分	—	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	中学校校舎施設耐震補強事業(北中)		所属名	教育委員会事務局 教育総務課

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり		事業期間	平成23年度 ~ 平成27年度
	政策	01	次代を築き担う、たくましい子どもを育む		根拠法令、根拠計画等	
施策	1102	教育の充実				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	建設、整備
	中学校における不登校生徒の出現率		3%	2%	運営方法	直営
	ふるさとを思い 志をもつ子の育成事業実施校数		5校	19校	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	北中学校校舎改築事業費			予算事業コード	01-09-03-03-25-01

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	北中学校校舎
意図 (どのような状態にするために)	地震発生時における生徒・教職員の安全を確保するとともに、非常時における避難場所としての機能を果たす。
手段 (どうするのか)	改築工事を行い、安全の確保と教育環境の改善を図る。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 耐震補強計画作成及び 評定取得業務 耐震補強(大規模改造) 実施設計業務	平成24年度 耐震補強工事 大規模改造工事	平成25年度 改築工事	平成26年度 改築工事	平成27年度 改築工事	
	年度別実績	耐震補強計画作成及び 評定取得業務	耐震補強工事 改築実施設計	改築工事			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	14,731	133,480	440,499	0	270,276	
	直接経費 A	13,981	132,737	439,042	0	270,276	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	35,902	140,363	0	31,822
		地方債	12,400	0	283,000	0	226,500
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	1,581	96,835	15,679	0	11,954	
人件費 B	750	743	1,457	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.20	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		中学校施設の耐震整備の棟数	棟	目標	2	5	2	10	2
			実績	2	6	2	0	0	
		(指標の説明)							
	2	目標	0	0	0	0	0		
		実績	0	0	0	0	0		
	(指標の説明)								
3	目標	0	0	0	0	0			
	実績	0	0	0	0	0			
	(指標の説明)								

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問い合わせ先】学校施設係 0857-20-3353</p> <p>【9次総の施策体系】1102</p> <p>【予算計上の経過】 当初予算・P260(教008)</p> <p>【事業の概要】 北中学校校舎のうち、昭和36、38、40、52年に建設の校舎6棟について、校舎改築を行う。</p> <p>【事業の成果】 地震発生時における児童・教職員の安全を確保するとともに、非常時における避難所としての機能を果たすことができる。</p> <p>【今後の課題・方向性】 平成25～27年度工事実施を予定。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	中学校施設の耐震整備の棟数	100%	120%	100%		
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	児童・生徒の安全及び避難場所確保のため妥当である。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	児童・生徒の安全及び避難場所確保のため有効である。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	施工方法等の検討を行い効率的に行っている。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	耐震性の低いものから行い公平である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>平成25～27年度工事実施を予定。</small>		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	000660	重点事業区分	—	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	中学校校舎施設耐震補強事業(用瀬中)		所属名	教育委員会事務局 教育総務課

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり		事業期間	平成23年度 ~ 平成25年度
	政策	01	次代を築き担う、たくましい子どもを育む		根拠法令、根拠計画等	
施策	1102	教育の充実				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	建設、整備
	中学校における不登校生徒の出現率		3%	2%	運営方法	直営
	ふるさとを思い 志をもつ子の育成事業実施校数		5校	19校	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	用瀬中学校校舎改築事業費			予算事業コード	01-09-03-03-26-01

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	用瀬中学校校舎
意図 (どのような状態にするために)	地震発生時における生徒・教職員の安全を確保するとともに、非常時における避難場所としての機能を果たす。
手段 (どうするのか)	改築工事を行い、安全の確保と教育環境の改善を図る。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 耐震補強計画作成及び 評定取得業務 耐震補強(大規模改造) 実施設計業務	平成24年度 解体工事 改築工事	平成25年度 改築工事	平成26年度	平成27年度	
	年度別実績	耐震補強計画作成及び 評定取得業務 結果:校舎改築となる	解体工事 改築工事	改築工事			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	16,924	419,740	2,186	0	0	
	直接経費 A	16,174	418,255	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	130,714	0	0	0
		地方債	15,900	283,800	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	274	3,741	0	0	0
人件費 B	750	1,485	2,186	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.20	0.30	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		中学校施設の耐震整備の棟数	棟	目標	2	5	2	10	2
	(指標の説明)		実績	2	6	2	0	0	
2		目標		0	0	0	0	0	
	(指標の説明)		実績	0	0	0	0	0	
3		目標		0	0	0	0	0	
	(指標の説明)		実績	0	0	0	0	0	

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 学校施設係 0857-20-3353</p> <p>【9次総の施策体系】 施策No.1102</p> <p>【予算計上の経過】 当初予算・P261(教009)</p> <p>【事業の概要】 用瀬中学校校舎のうち、昭和32、33年に建設の校舎2棟について、校舎改築を行った。</p> <p>【事業の成果】 地震発生時における児童・教職員の安全を確保するとともに、非常時における避難所としての機能を果たすことができる。</p> <p>【今後の課題・方向性】 平成25年度で改築完了。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	中学校施設の耐震整備の棟数	100%	120%	100%		
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	児童・生徒の安全及び避難場所確保のため妥当である。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	児童・生徒の安全及び避難場所確保のため有効である。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	施工方法等の検討を行い効率的に行っている。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	耐震性の低いものから行い公平である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input checked="" type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	平成25年度で改築完了。	

# 事務事業評価シート

事務事業コード	000688	重点事業区分	—	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	中学校施設耐震補強事業(東中)		所属名	教育委員会事務局 教育総務課

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり		事業期間	平成24年度 ~ 平成26年度
	政策	01	次代を築き担う、たくましい子どもを育む		根拠法令、根拠計画等	
施策	1102	教育の充実				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	建設、整備
	中学校における不登校生徒の出現率		3%	2%	運営方法	直営
	ふるさとを思い 志をもつ子の育成事業実施校数		5校	19校	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	東中学校校舎耐震補強事業費			予算事業コード	01-09-03-03-22-01

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	東中学校校舎
意図 (どのような状態にするために)	地震発生時における生徒・教職員の安全を確保するとともに、非常時における避難場所としての機能を果たす。
手段 (どうするのか)	耐震補強工事に併せて大規模改造工事を行ない、施設の劣化防止や機能回復を図る。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	年度別実績		耐震補強計画作成及び 評定取得業務 耐震補強(大規模改造) )実施設計業務	耐震補強工事 大規模改造工事	耐震補強工事 大規模改造工事		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	0	743	5,189	0	0	
	直接経費 A	0	0	3,003	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	2,800	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	0	0	203	0	0
人件費 B	0	743	2,186	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.10	0.30	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		中学校施設の耐震整備の棟数	棟	目標	2	5	2	10	2
			実績	2	6	2	0	0	
		(指標の説明)							
	2	目標	0	0	0	0	0		
		実績	0	0	0	0	0		
	(指標の説明)								
3	目標	0	0	0	0	0			
	実績	0	0	0	0	0			
	(指標の説明)								



5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問い合わせ先】学校施設係 0857-20-3353</p> <p>【9次総の施策体系】1102</p> <p>【予算計上の経過】 H24. 2月補正・P14(教003)</p> <p>【事業の概要】 東中学校の校舎のうち、昭和55、56年に建設の校舎3棟について、平成25～26年度で補強工事を行う。</p> <p>【事業の成果】 地震発生時における児童・教職員の安全を確保するとともに、非常時における避難所としての機能を果たすことができる。</p> <p>【今後の課題・方向性】 平成25～26年度で工事を実施。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	中学校施設の耐震整備の棟数	100%	120%	100%		
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	児童・生徒の安全及び避難場所確保のため妥当である。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	児童・生徒の安全及び避難場所確保のため有効である。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	施工方法等の検討を行い効率的に行っている。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	耐震性の低いものから行い公平である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント 平成25～26年度で工事を実施。		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	000689	重点事業区分	—	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	中学校施設耐震補強事業(気高中)		所属名	教育委員会事務局 教育総務課

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり		事業期間	平成26年度 ~ 平成29年度
	政策	01	次代を築き担う、たくましい子どもを育む		根拠法令、根拠計画等	
施策	1102	教育の充実				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	建設、整備
	中学校における不登校生徒の出現率		3%	2%	運営方法	直営
	ふるさとを思い 志をもつ子の育成事業実施校数		5校	19校	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	気高中学校校舎耐震整備事業費			予算事業コード	01-09-03-03-23-01

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	気高中学校校舎
意図 (どのような状態にするために)	地震発生時における生徒・教職員の安全を確保するとともに、非常時における避難場所としての機能を果たす。
手段 (どうするのか)	校区のあり方検討を踏まえ、改築工事を行い、安全の確保と教育環境の改善を図る。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	年度別実績		耐震補強計画作成及び 評定取得業務 耐震補強(大規模改造) 実施設計業務		改築実施設計	改築工事	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	0	7,784	0	0	420,000	
	直接経費 A	0	7,041	0	0	420,000	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	71,328
		地方債	0	0	0	0	331,200
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	0	7,041	0	0	17,472
人件費 B	0	743	0	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.10	0.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		中学校施設の耐震整備の棟数	棟	目標	2	5	2	10	2
			実績	2	6	2	0	0	
		(指標の説明)							
	2	目標	0	0	0	0	0		
		実績	0	0	0	0	0		
	(指標の説明)								
3	目標	0	0	0	0	0			
	実績	0	0	0	0	0			
	(指標の説明)								

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問い合わせ先】学校施設係 0857-20-3353</p> <p>【9次総の施策体系】1102</p> <p>【予算計上の経過】</p> <p>【事業の概要】 気高中学校の校舎のうち、昭和42年に建設の校舎2棟が耐震性能の低い建物と診断され、平成24年度に審査機関の評定取得を行った。その結果を受け、耐震補強事業から改築事業へ移行することとした。</p> <p>【事業の成果】 地震発生時における児童・教職員の安全を確保するとともに、非常時における避難所としての機能を果たすことができる。</p> <p>【今後の課題・方向性】 平成26年度設計、平成27～28年度工事実施を予定。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	中学校施設の耐震整備の棟数	100%	120%	100%		
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	児童・生徒の安全及び避難場所確保のため妥当である。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	児童・生徒の安全及び避難場所確保のため有効である。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	施工方法等の検討を行い効率的に行っている。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	耐震性の低いものから行い公平である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input checked="" type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	耐震補強事業から改築事業へ移行し、平成26年度設計、平成27～28年度工事実施を予定。	

# 事務事業評価シート

事務事業コード	000690	重点事業区分	—	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	中学校施設耐震補強事業(青谷中)		所属名	教育委員会事務局 教育総務課

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり		事業期間	平成26年度 ~ 平成28年度
	政策	01	次代を築き担う、たくましい子どもを育む		根拠法令、根拠計画等	
施策	1102	教育の充実				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	建設、整備
	中学校における不登校生徒の出現率		3%	2%	運営方法	直営
	ふるさとを思い 志をもつ子の育成事業実施校数		5校	19校	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	青谷中学校校舎耐震補強事業費			予算事業コード	01-09-03-03-24-01

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	青谷中学校校舎
意図 (どのような状態にするために)	地震発生時における生徒・教職員の安全を確保するとともに、非常時における避難場所としての機能を果たす。
手段 (どうするのか)	校区のあり方検討を踏まえ、改築工事を行い、安全の確保と教育環境の改善を図る。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	年度別実績		耐震補強計画作成及び 評定取得業務 耐震補強(大規模改造) 実施設計業務		改築実施設計	改築工事	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	0	4,451	0	0	420,000	
	直接経費 A	0	3,708	0	0	420,000	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	86,200
		地方債	0	0	0	0	333,800
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	0	3,708	0	0	0
	人件費 B	0	743	0	0	0	
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.10	0.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
		中学校施設の耐震整備の棟数	棟	目標	2	5	2	10	2	
			実績	2	6	2	0	0		
	(指標の説明)									
	2		目標		0	0	0	0	0	
			実績		0	0	0	0	0	
(指標の説明)										
3		目標		0	0	0	0	0		
		実績		0	0	0	0	0		
(指標の説明)										

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問い合わせ先】学校施設係 0857-20-3353</p> <p>【9次総の施策体系】1102</p> <p>【予算計上の経過】</p> <p>【事業の概要】 青谷中学校の校舎のうち、昭和34、35年に建設の校舎2棟が耐震性能の低い建物と診断され、平成24年度に審査機関の評定取得を行った。その結果を受け、耐震補強事業から改築事業へ移行することとした。</p> <p>【事業の成果】 地震発生時における児童・教職員の安全を確保するとともに、非常時における避難所としての機能を果たすことができる。</p> <p>【今後の課題・方向性】 平成26年度設計、平成27～28年度工事実施を予定。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	中学校施設の耐震整備の棟数	100%	120%	100%		
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	児童・生徒の安全及び避難場所確保のため妥当である。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	児童・生徒の安全及び避難場所確保のため有効である。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	施工方法等の検討を行い効率的に行っている。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	耐震性の低いものから行い公平である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input checked="" type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	耐震補強事業から改築事業へ移行し、平成26年度設計、平成27～28年度工事実施を予定。	

# 事務事業評価シート

事務事業コード	000692	重点事業区分	—	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	中学校施設耐震補強事業(気高屋内運動場)		所属名	教育委員会事務局 教育総務課

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり		事業期間	平成26年度 ~ 平成27年度
	政策	01	次代を築き担う、たくましい子どもを育む		根拠法令、根拠計画等	
施策	1102	教育の充実				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	建設、整備
	中学校における不登校生徒の出現率		3%	2%	運営方法	直営
	ふるさとを思い 志をもつ子の育成事業実施校数		5校	19校	会計区分	一般会計
予算	予算事業名			予算事業コード		
小中学校施設の耐震化率		73%	96%			

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	気高中学校屋内運動場
意図 (どのような状態にするために)	地震発生時における生徒・教職員の安全を確保するとともに、非常時における避難場所としての機能を果たす。
手段 (どうするのか)	耐震補強工事に併せて大規模改造工事を行ない、施設の劣化防止や機能回復を図る。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	年度別実績				耐震補強計画作成及び 評定取得業務 耐震補強(大規模改造) )実施設計業務	耐震補強工事 大規模改造工事	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	0	0	0	0	263,740	
	直接経費 A	0	0	0	0	263,740	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	15,250
		地方債	0	0	0	0	185,600
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	0	0	0	0	62,890
人件費 B	0	0	0	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
		中学校施設の耐震整備の棟数	棟	目標	2	5	2	10	2	
			実績	2	6	2	0	0		
	(指標の説明)									
	2		目標		0	0	0	0	0	
			実績		0	0	0	0	0	
(指標の説明)										
3		目標		0	0	0	0	0		
		実績		0	0	0	0	0		
(指標の説明)										

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問い合わせ先】学校施設係 0857-20-3353</p> <p>【9次総の施策体系】1102</p> <p>【予算計上の経過】</p> <p>【事業の概要】 気高中学校の屋内運動場について、耐震補強工事を平成27年度に予定している。</p> <p>【事業の成果】 地震発生時における児童・教職員の安全を確保するとともに、非常時における避難所としての機能を果たすことができる。</p> <p>【今後の課題・方向性】 校舎改築を先行実施するため、平成28年度設計、平成29年度工事実施を予定。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	中学校施設の耐震整備の棟数	100%	120%	100%		
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	児童・生徒の安全及び避難場所確保のため妥当である。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	児童・生徒の安全及び避難場所確保のため有効である。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	施工方法等の検討を行い効率的に行っている。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	耐震性の低いものから行い公平である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	校舎改築を先行実施するため、平成28年度設計、平成29年度工事実施を予定。	

# 事務事業評価シート

事務事業コード	002957	重点事業区分	-	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	中学校施設耐震補強事業(桜ヶ丘中)		所属名	教育委員会事務局 教育総務課

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり		事業期間	平成25年度 ~ 平成26年度
	政策	01	次代を築き担う、たくましい子どもを育む		根拠法令、根拠計画等	
施策	1102	教育の充実				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	建設、整備
	中学校における不登校生徒の出現率		3%	2%	運営方法	直営
	ふるさとを思い 志をもつ子の育成事業実施校数		5校	19校	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	桜ヶ丘中学校校舎耐震補強事業費			予算事業コード	01-09-03-03-27-01

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	桜ヶ丘中学校校舎
意図 (どのような状態にするために)	地震発生時における生徒・教職員の安全を確保するとともに、非常時における避難場所としての機能を果たす。
手段 (どうするのか)	耐震補強工事に併せて大規模改造工事を行ない、施設の劣化防止や機能回復を図る。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度	平成24年度	平成25年度 耐震補強計画作成及び 評定取得業務 耐震補強(大規模改造) 実施設計業務	平成26年度 耐震補強工事 大規模改造工事	平成27年度	
	年度別実績			耐震補強計画作成及び 評定取得業務 耐震補強(大規模改造) 実施設計業務			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	0	0	16,945	0	0	
	直接経費 A	0	0	16,216	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	14,800	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	0	0	1,416	0	0
人件費 B	0	0	729	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	0.10	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
		中学校施設の耐震整備の棟数	棟	目標	0	0	2	10	2	
			実績	0	0	2	0	0		
	(指標の説明)									
	2		目標		0	0	0	0	0	
			実績		0	0	0	0	0	
(指標の説明)										
3		目標		0	0	0	0	0		
		実績		0	0	0	0	0		
(指標の説明)										



5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問い合わせ先】学校施設係 0857-20-3353</p> <p>【9次総の施策体系】1102</p> <p>【予算計上の経過】 当初予算・P261(教010)</p> <p>【事業の概要】 桜ヶ丘中学校の校舎のうち、昭和54、55年に建設の校舎2棟について、耐震補強、外壁改修工事を平成26年度に予定している。</p> <p>【事業の成果】 地震発生時における児童・教職員の安全を確保するとともに、非常時における避難所としての機能を果たすことができる。</p> <p>【今後の課題・方向性】 学校運営に配慮し、2か年工事としたため、平成25年度設計、平成26～27年度工事実施を予定。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標 達成 率	1	中学校施設の耐震整備の棟数			100%		
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	児童・生徒の安全及び避難場所確保のため妥当である。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	児童・生徒の安全及び避難場所確保のため有効である。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	施工方法等の検討を行い効率的に行っている。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	耐震性の低いものから行い公平である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	学校運営に配慮し、2か年工事としたため、平成25年度設計、平成26～27年度工事実施を予定。	



5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問い合わせ先】学校施設係 0857-20-3353</p> <p>【9次総の施策体系】1102</p> <p>【予算計上の経過】</p> <p>【事業の概要】 桜ヶ丘中学校の屋内運動場について、耐震補強、大規模改修工事を平成27年度に予定している。</p> <p>【事業の成果】 地震発生時における児童・教職員の安全を確保するとともに、非常時における避難所としての機能を果たすことができる。</p> <p>【今後の課題・方向性】 学校運営に配慮し、校舎耐震工事同様に2か年工事としたため、平成26～27年度設計、平成27～28年度工事実施を予定。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	中学校施設の耐震整備の棟数			100%		
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	児童・生徒の安全及び避難場所確保のため妥当である。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	児童・生徒の安全及び避難場所確保のため有効である。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	施工方法等の検討を行い効率的に行っている。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	耐震性の低いものから行い公平である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	学校運営に配慮し、校舎耐震工事同様に2か年工事としたため、平成26～27年度設計、平成27～28年度工事実施を予定。	

# 事務事業評価シート

事務事業コード	002985	重点事業区分	—	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	中学校施設耐震補強事業(南中武道館)		所属名	教育委員会事務局 教育総務課

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり		事業期間	平成27年度 ~ 平成28年度
	政策	01	次代を築き担う、たくましい子どもを育む		根拠法令、根拠計画等	
施策	1102	教育の充実				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	建設、整備
	中学校における不登校生徒の出現率		3%	2%	運営方法	直営
	ふるさとを思い 志をもつ子の育成事業実施校数		5校	19校	会計区分	一般会計
予算	予算事業名			予算事業コード		
小中学校施設の耐震化率		73%	96%			

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	南中学校武道館
意図 (どのような状態にするために)	地震発生時における生徒・教職員の安全を確保するとともに、非常時における避難場所としての機能を果たす。
手段 (どうするのか)	耐震補強工事に併せて大規模改造工事を行ない、施設の劣化防止や機能回復を図る。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	年度別実績					耐震補強計画作成及び 評定取得業務 耐震補強(大規模改造) )実施設計業務	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	0	0	0	0	7,060	
	直接経費 A	0	0	0	0	7,060	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	6,700
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	0	0	0	0	360
人件費 B	0	0	0	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		中学校施設の耐震整備の棟数	棟	目標	0	0	2	10	2
			実績	0	0	2	0	0	
		(指標の説明)							
	2	目標	0	0	0	0	0		
		実績	0	0	0	0	0		
	(指標の説明)								
3	目標	0	0	0	0	0			
	実績	0	0	0	0	0			
	(指標の説明)								

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問い合わせ先】学校施設係 0857-20-3353</p> <p>【9次総の施策体系】1102</p> <p>【予算計上の経過】</p> <p>【事業の概要】 南中学校の武道場について、耐震補強・大規模改修工事を平成28年度に予定している。</p> <p>【事業の成果】 地震発生時における児童・教職員の安全を確保するとともに、非常時における避難所としての機能を果たすことができる。</p> <p>【今後の課題・方向性】 平成27年度設計、平成28年度工事実施を予定。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標 達成 率	1	中学校施設の耐震整備の棟数			100%		
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	児童・生徒の安全及び避難場所確保のため妥当である。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	児童・生徒の安全及び避難場所確保のため有効である。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	施工方法等の検討を行い効率的に行っている。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	耐震性の低いものから行い公平である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>平成27年度設計、平成28年度工事実施を予定。</small>		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	000539	重点事業区分	—	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	不登校対策事業(不登校対策)		所属名	教育委員会事務局 学校教育課

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり		事業期間	全期
	政策	01	次代を築き担う、たくましい子どもを育む		根拠法令、根拠計画等	
施策	1102	教育の充実				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	内部管理
	中学校における不登校生徒の出現率		3%	2%	運営方法	直営
	ふるさとを思い 志をもつ子の育成事業実施校数		5校	19校	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	不登校対策事業費			予算事業コード	01-09-01-03-12-01
		小中学校施設の耐震化率		73%	96%	

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	鳥取市立小学校・中学校、及びその児童・生徒
意図 (どのような状態にするために)	鳥取市立小・中学校の児童生徒における学校不適応傾向の解消及び未然防止
手段 (どうするのか)	鳥取市学校不適応対策専門委員会でも不適応対策について総括的に討議し、学校不適応の未然防止と課題解消を推進する。特に地域を含めた中学校区の学校の連携を強め、小中の連続性のある不適応対策、児童生徒支援を行っていく。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 学校不適応対策専門委員会の開催、中学校区・校内不適応対策委員会の実施、スーパーバイザーでの助言指導	平成24年度 学校不適応対策専門委員会の開催、中学校区・校内不適応対策委員会の実施、スーパーバイザーでの助言指導	平成25年度 学校不適応対策専門委員会の開催、中学校区・校内不適応対策委員会の実施、スーパーバイザーでの助言指導	平成26年度 学校不適応対策専門委員会の開催、中学校区・校内不適応対策委員会の実施、スーパーバイザーでの助言指導	平成27年度 学校不適応対策専門委員会の開催、中学校区・校内不適応対策委員会の実施、スーパーバイザーでの助言指導	
	年度別実績	学校不適応対策専門委員会を年3回開催し、鳥取市の不適応対策について検討した。各小中学校や中学校区においてスーパーバイザーを招聘して不適応対策委員会を実施し、教職員の力量の向上につながった。	学校不適応対策専門委員会を年3回開催し、市の不適応対策について検討した。各中学校区において延べ25回スーパーバイザーを招聘して不適応対策委員会を実施し、不適応の解消や教職員の力量の向上につながった。	学校不適応対策専門委員会を年4回開催し、市の学校不適応対策について検討した。各小中学校や中学校区においてスーパーバイザーを招聘し、不適応対策委員会や研修会を実施し、教職員の力量向上につながった。			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	2,088	1,811	1,807	0	620	
	直接経費 A	589	326	350	0	620	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	589	326	350	0	620		
人件費 B	1,499	1,485	1,457	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.20	0.20	0.20	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	学校不適応対策専門委員会の実施回数	単位	回	区分	目標	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
		実績	3	3	3	3	0	3					
	(指標の説明) 学校不適応対策専門委員会の実施回数												
	2	指標名	スーパーバイザーによる助言指導回数	単位	回	区分	目標	18	18	17	17	17	
		実績	35	25	21	0	0						
	(指標の説明) 不適応対策専門委員がスーパーバイザーとして、学校・中学校区へ助言指導した回数												
3	指標名		単位		区分	目標	0	0	0	0	0		
	実績	0	0	0	0	0							
(指標の説明)													

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】生徒指導係 0857-20-3366</p> <p>【9次総の施策体系】1102</p> <p>【予算計上の経過】 当初予算・P267(教014)</p> <p>【事業の概要】 学校不適應の専門家や地域協力員の活用により、学校不適應の解消に向けた取り組みを行う。 ① 学校不適應対策専門委員会、地域協力員の会、学校代表の会を行い、対策事業を推進する。 ② 学校不適應対策専門委員会の委員を各学校へ派遣し、助言や支援を行う。</p> <p>【事業の成果】 学校不適應対策専門委員会開催4回 委員数15人 地域協力員の会開催2回 委員数60人</p> <p>【今後の課題・方向性】 不登校の背景も複雑になり、不登校児童生徒の出現率は依然として高い状況にある。今後も不適應対策委員による方針のもとに、各小中学校や中学校区において未然防止と早期対応を進めるとともに各専門機関との連携を強化し不登校の解消に当たっていく。 また、個別の事案に対して専門家を交えた支援会議を行うなどスーパーバイザー等の一層の活用を図り、不登校の改善を目指していく。本市教育の重要課題である学校不適應の解消のためにも本事業の継続・拡充が必要であると考えている。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	学校不適應対策専門委員会の実施回数	100%	100%	133%		
	2	スーパーバイザーによる助言指導回数	194%	194%	124%		
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	鳥取市の重点課題であり、15人の専門家で構成される鳥取市学校不適應対策専門委員会の方針決定により、各中学校区での未然防止、早期対応が行われている。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	市の方針に基づき、学校、専門機関、市教委が役割分担して不登校対策が推進されている。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	15人の専門委員がスーパーバイザーとして各校や中学校区での事案対応、教職員研修等に関わっている。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	各校及び中学校区不適應対策委員会には、地域協力員が出席して学校と連携を結び、また、15人の専門委員が事案に対してアドバイスをを行っている。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<b>担当課長の評価コメント</b> <small>学校不適應の解消は、市の重点課題でもあり、学校と地域、専門機関が連携して、学校不適應の解消にあたっている。今後、関係機関との早期連携、未然防止・早期対応のための情報共有の体制づくり等を充実・強化しながら、学校不適應をより進めていく必要を感じている。今後も事業の継続・拡充が必要と考えている。</small>		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	000568	重点事業区分	—	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	不登校対策事業(スクールソーシャルワーカー活用)		所属名	教育委員会事務局 学校教育課

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり		事業期間	平成23年度 ~ 全期
	政策	01	次代を築き担う、たくましい子どもを育む		根拠法令、根拠計画等	
施策	1102	教育の充実				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	内部管理
	中学校における不登校生徒の出現率		3%	2%	運営方法	外部委託
	ふるさとを思い 志をもつ子の育成事業実施校数		5校	19校	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	スクールソーシャルワーカー活用事業費		予算事業コード	01-09-01-03-68-01	

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	鳥取市立小学校・中学校の関係諸機関との連携体制
意図 (どのような状態にするために)	教育と福祉に関係する諸機関と連携しながら子どもやその保護者に対応し、効果的な支援を行う。
手段 (どうするのか)	学校や関係諸機関との連絡調整やケース会議の運営、該当の児童生徒や保護者に対しての相談や働きかけを行う。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 スクールソーシャルワーカーによる相談支援	平成24年度 スクールソーシャルワーカーによる相談支援	平成25年度 スクールソーシャルワーカーによる相談支援	平成26年度 スクールソーシャルワーカーによる相談支援	平成27年度 スクールソーシャルワーカーによる相談支援	
	年度別実績	市内全中学校への訪問を実施。学校からの相談のあった全事案に対応し、アセスメントを行った。	市内全小学校(44校)への訪問を実施。学校からの相談のあった全事案に対応し、アセスメントを行った。	市内全小学校(44校)への訪問を実施。学校からの相談のあった全事案に対応し、アセスメントを行った。			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	2,236	4,051	3,961	0	4,023	
	直接経費 A	737	2,566	2,504	0	4,023	
	直接経費の財源内訳	国・県	491	1,713	1,669	0	2,682
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	246	853	835	0	1,341	
人件費 B	1,499	1,485	1,457	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.20	0.20	0.20	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		相談支援の件数	件	目標	15	20	20	75	100
	(指標の説明)		実績	30	49	86	0	0	
2		指標名		目標	0	0	0	0	0
	(指標の説明)			実績	0	0	0	0	0
3		指標名		目標	0	0	0	0	0
	(指標の説明)			実績	0	0	0	0	0



5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】生徒指導係 0857-20-3366</p> <p>【9次総の施策体系】1102</p> <p>【予算計上の経過】 当初予算・P267(教026)</p> <p>【事業の概要】 学校教育課に社会福祉士等の資格を持つ人材をスクールソーシャルワーカーとして配置し、学校や関係諸機関との連絡調整や支援会議への参加、該当の児童生徒及び保護者に対する相談や働きかけを行う。</p> <p>【事業の成果】 スクールソーシャルワーカーとして2名を配置し、該当の児童生徒及び保護者に対する相談や働きかけを早期に行うことができた。</p> <p>【今後の課題・方向性】 不登校、問題行動が増加傾向にあり、学校の取組だけでは解決困難な福祉的支援等が必要な事例も多く報告されており、より一層の関係機関との連携が重要となっている。また、対応困難なケースに対しては学校に対する継続した支援が必要であり、相談活動や支援会議等への出席、関係機関との連絡調整等が増加することが予想されるため、今後、SSWの増員が望まれる。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標 達成 率	1	相談支援の件数	200%	245%	430%		
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	学校不適應の解消には、学校と関係諸機関との円滑な連携が必須。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	教育と福祉の専門家が協力して事業に当たることで適切な関係機関との連携が迅速に行える。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	学校からの相談を迅速に対応するとともに、月例報告に基づく学校訪問を実施
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	相談事業に加え、随時の学校訪問を実施し、すべての児童・生徒を対象にしている。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<b>担当課長の評価コメント</b> <small>学校からの相談事案が年々増加している。不適應児童生徒の背景が複雑化してきている現状において、福祉と教育の専門性や経験を生かしたスクールソーシャルワーカーの働きは欠かすことのできない学校支援である。学校不適應対策の取り組みとして大変有効であり拡充が必要と考えている。</small>		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	000567	重点事業区分	—	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	特別支援教育支援員配置事業		所属名	教育委員会事務局 学校教育課

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり		事業期間	平成19年度 ~ 全期
	政策	01	次代を築き担う、たくましい子どもを育む		根拠法令、根拠計画等	
施策	1102	教育の充実				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	内部管理
	中学校における不登校生徒の出現率		3%	2%	運営方法	直営
	ふるさとを思い 志をもつ子の育成事業実施校数		5校	19校	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	特別支援教育支援員配置事業費			予算事業コード	01-09-01-03-66-01

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市内全ての小・中学校
意図 (どのような状態にするために)	発達障がいなど教育上の特別な配慮を要する児童生徒が在籍する学級の円滑な運営と、当該要支援児童生徒の学習活動を支援する。
手段 (どうするのか)	発達障がいなど教育上の特別な配慮を要する児童生徒が在籍する学校に、特別支援教育支援員を派遣する。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 支援員を24名配置	平成24年度 支援員を39名配置	平成25年度 支援員を25名配置	平成26年度 支援員を30名配置	平成27年度 支援員を35名配置	
	年度別実績	支援員を20名配置	支援員を23名配置	支援員を25名配置			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	26,656	31,309	33,235	0	51,394	
	直接経費 A	25,906	30,566	32,506	0	51,394	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	25,906	30,566	32,506	0	51,394		
人件費 B	750	743	729	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	支援員配置校数	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
			校	目標	24	39	25	30	35
			実績	20	23	25	0	0	
		(指標の説明) 特別支援教育支援員の配置校数							
2	支援員配置率	校	目標	0	0	53	53	0	
			実績	0	0	25	0	0	
		(指標の説明) 特別支援教育支援員の配置要望校における配置校数							
3			目標	0	0	0	0	0	
			実績	0	0	0	0	0	
		(指標の説明)							

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 指導係 0857-20-3357</p> <p>【9次総の施策体系】 1102</p> <p>【予算計上の経過】 当初予算・P267(教025)</p> <p>【事業の概要】 障がいのある児童生徒個々のニーズに応じた学習指導や生活指導の支援を行う。</p> <p>【事業の成果】 平成24年度特別支援教育支援員配置=23名 平成25年度特別支援教育支援員配置=25名</p> <p>【今後の課題・方向性】 全国的に、学習中に個別の配慮を必要とする児童生徒が増加しており、本市においてもますます特別支援教育支援員の配置要望校は増える見込んでいる。今後は、財源を確保した上で、希望校全てに配置を拡充していく必要がある。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	支援員配置校数	83%	59%	100%		
	2	支援員配置率			47%		
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	小中学校では、発達障がいなどで教育的な個別の配慮を要する児童生徒が増加傾向にある。学級担任一人では、ニーズに応じた適切な支援が難しい現状がある中で、支援員を配置し学習指導や生活指導を行う本事業は妥当である。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	特別支援教育支援員を配置した学校は、発達障がいなどで教育的な個別の配慮を要する児童生徒に適切な支援を行うことができ、学力の定着や学級の円滑な運営等で大きな成果を上げている。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	各学校からの特別支援教育支援員の配置ニーズはとて高く、希望校の中で必要度の高い学校から順に支援員を配置している。配置の必要度の高い学級に入ってニーズに応じた支援を行うことができ、本事業の実施手法は効率的であると考える。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input checked="" type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	年々、支援員の配置数を拡充してきているが、配置希望校はとて多く、各学校からの要望に応えきれない現状がある。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	<small>年々、配置数を拡充してきたところであるが、将来的には希望する全小中学校に配置する方針である。今後は、財源を確保した上で、希望校への配置を拡充していく必要がある。一方、事業拡充に伴い、支援員の人材確保の問題がある。今後は、鳥取市が独自に任用の要件としている「教職員免許状を有する」という資格要件を緩和するなどを検討していきたい。</small>	